

6章 資料

6-1 運営

6-1-1 予算

試験検査手数料の推移を表6-1-1、歳入の推移を表6-1-2、歳出の推移を図6-1-1 および表6-1-3 に示す。

歳入、歳出の表に示した目名、事業名等は、各事業が行なわれた年度の名称を使用した。

図6-1-1 に示した項目は、表6-1-3 の事業を以下のように区分した。

一般管理費：給与費、旅費等の一般管理費

維持運営費：維持運営費、固有施設管理費

調査研究費：維持運営費を除く温泉地学研究所費と一般管理費、維持運営費を除いた全ての事業費

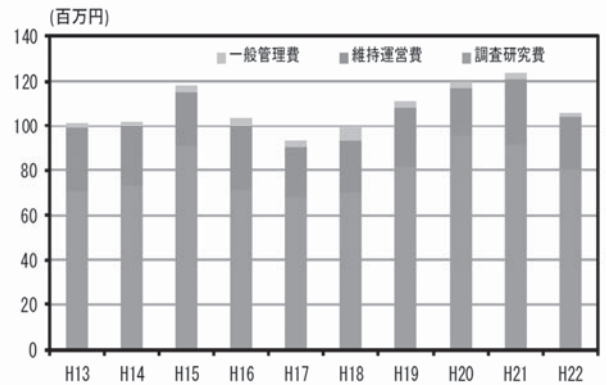


図6-1-1 歳出の推移 (H13~H22)

表6-1-1 試験検査手数料の推移

試験検査項目	H13			H14			H15			H16			H17		
	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)
温泉、鉱泉、地下水等の試験															
温泉水又は鉱泉水の小分析試験	33,240	9	299,160	33,240	20	664,800	33,240	37	1,229,880	33,240	37	1,229,880	33,240	16	531,840
温泉水又は鉱泉水の分析試験	80,380	24	1,929,120	80,380	44	3,536,720	80,380	32	2,572,160	80,380	84	6,751,920	80,380	36	2,893,680
定量分析	4,070	36	146,520	4,070	28	113,960	4,070	22	89,540	4,070	30	122,100	4,070	34	138,380
温泉付随ガス分析															
再交付							730	3	2,190	730	1	730			
電気検層(深度150m未満)							73,720	1	73,720						
電気検層(150m以上800m未満)	116,130	2	232,260	116,130	4	464,520	116,130	4	464,520	116,130	1	116,130			
温度検層(150m以上800m未満)				61,990	1	61,990									
合計			2,607,060			4,841,990			4,432,010			8,220,760			3,563,900

試験検査項目	H18			H19			H20			H21			H22		
	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)	単価(円)	件数	金額(円)
温泉、鉱泉、地下水等の試験															
温泉水又は鉱泉水の小分析試験	33,240	12	398,880	33,240	19	631,560	33,240	17	565,080	33,240	4	132,960	39,880	13	518,440
										*39,880	6	239,280			
温泉水又は鉱泉水の分析試験	80,380	27	2,170,260	80,380	45	3,617,100	80,380	34	2,732,920	80,380	11	884,180	96,450	13	1,253,850
										*96,450	20	1,929,000			
定量分析	4,070	6	24,420	4,070	51	207,570	4,070	2	8,140	4,070	3	12,210	4,880	13	634,440
温泉付随ガス分析							14,000	36	504,000	14,000	11	154,000	14,000	5	70,000
再交付	730	3	2,190	730	5	3,650	730	4	2,920	730	4	2,920	730	5	3,650
電気検層(深度150m未満)															
電気検層(150m以上800m未満)				116,130	4	464,520									
										*139350	1	139,350	139,350	2	278,700
温度検層(150m以上800m未満)															
合計			2,595,750			4,924,400			3,813,060			3,493,900			2,188,080

*H21. 7. 1価格改定

表6-1-2 歳入の推移

目	節	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
使用料及び手数料		2,661,556	4,896,486	4,478,854	8,267,604	3,610,744	2,638,457	4,967,223	3,855,767	3,534,432	228,612
総務使用料 (~H14 環境使用料)	安全防災費使用料 (~H16 防災費使用料) (~H14 環境管理費使用料)	54,496	54,496	46,844	46,844	46,844	42,707	42,823	42,707	40,532	40,532
総務手数料 (~H14 環境手数料)	安全防災費手数料 (~H16 防災費手数料) (~H14 環境管理手数料)	2,607,060	4,841,990	4,432,010	8,220,760	3,563,900	2,595,750	4,924,400	3,813,060	3,493,900	2,188,080
諸収入		2,201,636	1,482,249	118,191	86,059	97,784	97,784	7,063,687	28,078,680	27,045,284	17,666,354
総務受託事業収入 (~H14 環境受託事業収入)	政策費受託事業収入 安全防災費受託事業収入 企画費受託事業収入 環境管理費受託事業収入									1,000,000	17,595,085
								7,000,000	28,000,000	26,000,000	
総務立替収入	安全防災費立替収入 (~H16 防災費立替収入)			114,425	86,059	83,624	31,705	46,233	78,650	45,284	70,504
	労働保険料立替収入						45,370	15,639			
環境立替収入	環境管理費立替収入	98,311	128,818	3,766							
雑入	総務費雑入 (~H14 環境費雑入)	1,155	6,491			14,160		1,815	30		
合計		4,863,192	6,378,735	4,597,045	8,353,663	3,708,528	2,715,532	12,030,910	31,934,447	30,579,716	19,894,966

表 6-1-3 歳出の推移 (1)

目名	事業名	細事業名	H13	H14	H15	H16	H17	
一般管理費		給与費	給与費(一般管理費)	8,800	17,647	8,800	895,658	451,238
		非常勤職員報酬	非常勤職員報酬					
		臨時職員雇用費	臨時職員雇用費	1,600,000	1,628,698	1,570,000	1,933,000	1,834,104
土地水資源対策費	土地水資源調整費	旅費	旅費(一般管理費)	835,590	1,056,010	1,289,510	1,074,530	746,910
		土地水資源調整費	土地水資源調整費			200,000		
政策調整費 (~H20 科学技術推進費)	研究交流推進事業費	政策推進受託研究事業費	政策推進受託研究事業費					
		地域科学技術振興事業費	地域科学技術振興事業費				2,327,138	2,611,690
		試験研究機能高度化推進事業費	試験研究機能高度化推進事業費	3,519,777	2,462,217	2,359,772		
災害対策費		知的財産育成事業費	知的財産育成事業費					
		防災情報システム推進費	防災情報通信運営費					
		防災会議費	防災会議費					
		地震災害対策計画事業費	地震災害対策計画調査事業費				463,250	413,650
		広域防災活動備蓄資機材整備費	広域防災活動備蓄資機材整備費			15,253,338		
		災害情報管理システム整備費	災害情報管理システム整備費			2,383,920		
		安全防災行政諸費 (~H15 災害対策推進費)	災害対策本部費			38,000		38,000
		地震観測・予知研究事業	地震観測調査事業費	12,153,116	15,143,507	15,253,338		
環境総務費	環境行政推進諸費	環境行政推進費	環境行政推進費	1,000,000				
		維持運営費	温泉地学研究所維持運営費	27,202,249	26,233,180	24,584,698	23,204,502	22,037,422
温泉地学研究所費	研究調査費	試験検査費	試験検査費	590,000	500,000	400,000	2,100,000	1,000,000
		温泉・地質研究調査費	温泉・地質研究調査費	462,000	416,000	340,000	645,000	
		温泉地学研究所経常研究費	温泉地学研究所経常研究費	5,227,157	11,462,523	11,330,951	8,314,055	10,254,468
		地震観測調査事業費	地震観測調査事業費				16,751,145	16,636,900
		温泉地学研究所受託研究費	温泉地学研究所受託研究費	2,103,000	1,347,000			
		機器整備費	温泉地学研究所機器整備費	12,491,350	12,182,918	11,873,450	12,084,000	12,041,975
		総合研究システム運営費	温泉地学研究所総合研究システム運営費	21,331,475	21,240,897	20,624,622	19,720,255	19,270,134
生活衛生指導費	温泉指導監督費	地震・火山観測網強化事業費	地震・火山観測網強化事業費					
		職員提案事業推進費	かながわ温泉情報地理情報化事業(職員提案)					
		温泉指導監督費	温泉指導監督費	1,402,100	1,208,440	1,090,000	930,000	930,000
県有施設管理費 (~H16 財産管理費)	県有財産各所管繕費	県有施設長寿命化対策費	県有施設長寿命化対策費				5,423,708	304,500
		砂防施設等新設改良費	地すべり対策事業費(単独事業)					
大気水質保全費	砂防維持費	急傾斜地計画調査費	急傾斜地計画調査費	756,000	756,000	756,000	756,000	756,000
		環境汚染常時監視費	水質常時監視費	4,602,500	3,662,452	3,500,000	3,799,950	980,700
		発生源規制推進費	水質汚濁発生源対策推進費	790,000				
		地下水対策推進費	地下水・土壌保全対策推進費					220,000
		地下水対策推進費	地下水総合保全対策推進費	300,000	200,000	240,000	240,000	
自然環境保全センター費	丹沢大山自然環境保全対策事業費	丹沢大山自然環境保全対策事業費	508,000	417,000	417,000	417,000		
合計			99,578,254	99,934,489	115,897,319	101,079,191	90,527,691	

表 6-1-3 歳出の推移 (2)

目名	事業名	細事業名	H18	H19	H20	H21	H22	
一般管理費		給与費	給与費(一般管理費)	457,589	432,650	437,965	402,328	73,109
		非常勤職員報酬	非常勤職員報酬	2,968,654		21,182		
		臨時職員雇用費	臨時職員雇用費	1,599,456	1,597,590	1,663,377	1,592,794	832,113
土地水資源対策費	土地水資源調整費	旅費	旅費(一般管理費)	1,070,915	1,190,324	983,110	814,400	673,180
		土地水資源調整費	土地水資源調整費					
政策調整費 (~H20 科学技術推進費)	研究交流推進事業費	政策推進受託研究事業費	政策推進受託研究事業費		7,000,000		1,000,000	
		地域科学技術振興事業費	地域科学技術振興事業費	3,554,000	3,876,106	3,684,278	2,226,180	857,850
		試験研究機能高度化推進事業費	試験研究機能高度化推進事業費					
災害対策費		知的財産育成事業費	知的財産育成事業費	291,000	114,000			
		防災情報システム推進費	防災情報通信運営費		17,000			
		防災会議費	防災会議費	500,000				
		地震災害対策計画事業費	地震災害対策計画調査事業費	413,350	356,790	328,795	215,956	237,000
		広域防災活動備蓄資機材整備費	広域防災活動備蓄資機材整備費		999,390			
		災害情報管理システム整備費	災害情報管理システム整備費		7,990,500			
		安全防災行政諸費 (~H15 災害対策推進費)	災害対策本部費		38,000	38,000	38,000	
		地震観測・予知研究事業	地震観測調査事業費					
環境総務費	環境行政推進諸費	環境行政推進費	環境行政推進費					
		維持運営費	温泉地学研究所維持運営費	22,011,118	21,477,747	21,041,466	21,455,376	20,225,703
温泉地学研究所費	研究調査費	試験検査費	試験検査費	900,000	810,000	1,029,000	1,015,350	701,000
		温泉・地質研究調査費	温泉・地質研究調査費					
		温泉地学研究所経常研究費	温泉地学研究所経常研究費	9,493,300	8,071,446	8,576,193	3,868,003	7,353,318
		地震観測調査事業費	地震観測調査事業費	16,590,075	16,519,899	16,390,663	15,697,481	15,421,397
		温泉地学研究所受託研究費	温泉地学研究所受託研究費			28,000,000	26,000,000	17,595,085
		機器整備費	温泉地学研究所機器整備費	12,004,450	11,968,750	11,084,779	11,097,375	8,249,466
		総合研究システム運営費	温泉地学研究所総合研究システム運営費	19,270,367	19,040,819	18,449,989	17,661,948	15,988,242
生活衛生指導費	温泉指導監督費	地震・火山観測網強化事業費	地震・火山観測網強化事業費			3,622,082	8,807,925	12,797,571
		職員提案事業推進費	かながわ温泉情報地理情報化事業(職員提案)			206,565		
		温泉指導監督費	温泉指導監督費	857,000	905,000	965,000	965,000	538,000
県有施設管理費 (~H16 財産管理費)	県有財産各所管繕費	県有施設長寿命化対策費	県有施設長寿命化対策費		630,000		1,597,050	322,833
		砂防施設等新設改良費	地すべり対策事業費(単独事業)	1,261,585	4,561,830	166,950	6,420,435	3,195,150
大気水質保全費	砂防維持費	急傾斜地計画調査費	急傾斜地計画調査費		756,000	250,000	250,000	234,255
		環境汚染常時監視費	水質常時監視費					
		発生源規制推進費	水質汚濁発生源対策推進費					
		地下水対策推進費	地下水・土壌保全対策推進費	218,000	218,000	350,000	315,000	649,111
		地下水対策推進費	地下水総合保全対策推進費					
自然環境保全センター費	丹沢大山自然環境保全対策事業費	丹沢大山自然環境保全対策事業費						
合計			93,460,859	108,571,841	117,289,394	121,440,601	105,944,383	

6-1-2 研究調査用備品、リース物品

表6-1-4 備品 (平成21年度)

分類	品目 (数)	年度内受払		年度末数量	重要物品 (内数)
		受	払		
いす類	応接いす他 (4)			191	
テーブル類	応接テーブル他 (9)			92	
箱・戸棚類	器具棚他 (26)			107	
ちゅう具類	冷蔵庫 (1)			4	
冷暖房機器類	ストーブ (1)			8	
事務用機器類	パソコン他 (15)	1		35	
計測機器類	地震傾斜計他 (72)	5	30	214	42
写真光学機器類	走査電子顕微鏡他 (20)	1		36	1
試験実験機器類	定温乾燥器他 (41)			65	2
農水産機器類	刈払機 (1)			1	
諸機械類	受量装置他 (47)			144	41
船車類	小型四輪貨物自動車他 (3)			7	1
諸工具類	ドリル他 (2)			2	
教養及び体育機具類	テレビ他 (2)	1		7	
雑器具類	研磨板他 (26)			84	
標本、美術品類	地質模型他 (2)			5	
図書類	日本地質大系他 (1)			626	
計	(273品目)	8	30	1628	87

表6-1-5 リース物品 (平成22年度)

品目	型式	借用開始	借用終了
総合研究システム	東芝 MAGNIA LiTE31S/W 他	15. 10. 1	23. 3. 31
イオンクロマトグラフ	日本ダイオネクスICS2000 (陽イオン用)	17. 4. 1	23. 3. 31
GPS測量装置	Leica GX1220	17. 4. 1	23. 3. 31
無停電電源装置	GSYUASA BM5000-10FND II	17. 4. 1	23. 3. 31
土壌用高速遠心機	コクサン H-1400pF	17. 4. 1	23. 3. 31
電気検層システム	Mount Sopris MGX II	17. 8. 1	22. 7. 31
水銀測定装置	平沼産業 HG-320J-23	17. 10. 1	23. 3. 31
イオンクロマトグラフ	日本ダイオネクス ICS1500 (陰イオン用)	17. 10. 1	23. 3. 31
計測震度計	東京計測 SV-355T	17. 10. 1	23. 3. 31
ファクシミリ	リコー IMAGIO NEO135	17. 10. 1	23. 3. 31
自動乳鉢	石川式AGB卓上型	18. 4. 1	23. 3. 31
電子線微小分析装置制御装置	JXA-8900 用制御装置	18. 4. 1	23. 3. 31
GPS 測量装置	Leica GX1220	18. 4. 1	23. 3. 31
地震計データレコーダー	DAT4	18. 4. 1	23. 3. 31
地震計	MarkProduct 製 L22-3D	18. 4. 1	23. 3. 31
ガスクロマトグラフ	島津製作所 GC-8APT、C-R8A、CRG-8、LC02	18. 4. 1	23. 3. 31
純水製造装置	東京理化 スチールエース SA-2100E-UV	18. 4. 1	23. 3. 31
原子吸光光度計	日立 Z-2000	18. 4. 1	23. 3. 31
多機能型分析天秤	メトラー・トレド XP205DR	18. 4. 1	23. 3. 31
簡易型プリンター	メトラー・トレド RS-P42	18. 4. 1	23. 3. 31
卓上型pH・導電率計	メトラー・トレド セブンマルチS47	18. 4. 1	23. 3. 31
光波測量用テレメーター装置	測振テクノス テレメーター用機器	20. 4. 1	27. 3. 31
高精度測量用アンテナ	TOPCON CR-4	20. 4. 1	27. 3. 31
地球測位システム受信機	TOPCON NET-13	20. 4. 1	27. 3. 31

表6-1-5 リース物品（つづき）（平成22年度）

品 目	型 式	借用開始	借用終了
パソコン、プリンター	デル Vostro Desktop 2000ST 他	20. 4. 1	25. 3. 31
超純水製造装置	MilliQ advantage	20. 4. 1	25. 3. 31
可燃性ガス測定装置	FM-500E	20. 4. 1	25. 3. 31
水位計データロガー	ホボU20 ウォーターレベルロガー	20. 7. 1	25. 3. 31
地殻変動用機動観測制御機器	TOPCON FC-200	20. 7. 1	25. 3. 31
冷却水循環装置	東京理化 CA-1112	20. 7. 1	25. 3. 31
地震・傾斜観測系装置	データ解析・情報提供システム（1基）ほか	20.10. 1	25. 9. 30
GPS観測系機器	GPS受信局（1局）GPS観測施設（4施設）	20.10. 1	25. 9. 30
火山ガス観測系機器	火山ガス・地温受信局（1局）ほか	20.10. 1	25. 9. 30
熱赤外線カメラ	NECAvio赤外線カメラ TH9100MR	21. 4. 1	26. 3. 31
ビデオカメラ	ソニー HDR-XR520V	21. 4. 1	26. 3. 31
分光光度計	日立ハイテクノロジー U2900	21. 4. 1	26. 3. 31
自動滴定装置	三菱化学アナリテック GT-2000	21. 4. 1	26. 3. 31
純水製造装置	日本ミリポア Elix Advantage3	21. 4. 1	26. 3. 31
動的回転式カウディング試験機	東邦地下工機 DSTPセミオートセット	21. 4. 1	26. 3. 31
カラー大型プリンタ	キヤノン image PROGRAF iPF710	21. 4. 1	26. 3. 31
カラープリンタ複合機	セイコーエプソン LP-M600A	21. 4. 1	26. 3. 31
A0プリンター用サーバー	富士通パソコン FMV D3260	21. 5. 1	26. 3. 31
箱根地域立体地質模型	箱根火山の立体地質模型及び解説パネル	21. 7. 1	26. 3. 31
パッケージエアコン	FDTV563H3 1台 FDTV803-3 1台	21. 7. 1	26. 3. 31
展示用大型ディスプレイ	液晶ディスプレイ（KDL-46V5）ほか	21. 7. 1	26. 3. 31
GPS測量装置	TOPCON製 NET-G3 4台	21.11. 1	26.10. 31
システム偏光顕微鏡	オリンパス(株)BX51N-33P-OC	22. 4. 1	29. 3. 31
偏光顕微鏡薄片作成用	オリンパス(株)CX-31PN-KPA	22. 4. 1	29. 3. 31
実体顕微鏡	オリンパス(株)SXZ-16	22. 4. 1	29. 3. 31
除湿機	(株)コロナCD-H1185 3台	22. 4. 1	29. 3. 31
イオンクロマト（ヨウ素用）	ダイオネクス社ICS-2100型	22. 4. 1	29. 3. 31
イオンクロマト（陽イオン用）	ダイオネクス社ICS-2100型	22. 4. 1	29. 3. 31
温泉温度測定・記録計	(株)チノーKR2161-ROA 2台	22. 4. 1	29. 3. 31
パイプカメラ	シンワ無線社φ9.8mm VB（30m）	22. 4. 1	29. 3. 31
地下水採取用小型水中ポンプ	兵新装備(株)モノポンプ	22. 4. 1	29. 3. 31
低消費型地震観測装置	(株)計測技研HKS-9550 3台	22. 4. 1	29. 3. 31
125℃対応温度検層用プローブ	Mount Sopris CMP-1407	22.10. 1	29. 3. 31
CP発光分光分析装置	サモフィッシュサイエンティフィック社 iCAP6300Duo	22.10. 1	29. 3. 31
光波測量装置（小田原）	(有)測振テクノス	22.10. 1	29. 3. 31
地震・傾斜テレメータ装置	明星電気 S501G-01	22.10. 1	29. 3. 31
データ監視・警報処理装置	明星電気	22.10. 1	29. 3. 31
地下水位観測システム	明星電気 QWP-DP1A	22.10. 1	29. 3. 31
ウォーターバス	柴田化学 TBM212AA	22.10. 1	29. 3. 31
携帯型PH計	東亜ディーケーケー HM-30P	22.10. 1	29. 3. 31
携帯型導電率計	東亜ディーケーケー CM-31P	22.10. 1	29. 3. 31
卓上導電率計	東亜ディーケーケー CM-30R	22.10. 1	29. 3. 31
単孔式地下水流向流速計	(株)ジオファイブ GFD-3a	22.10. 1	29. 3. 31
集塵機	三栄技研(株) CD-V2	22.10. 1	29. 3. 31

6-2 職員の配置状況等（平成23年度）

ア 所長（1名）

所長は、常勤研究職。

イ 管理課（3名）

管理課は次長兼管理課長、課員と再任用職員の課員から構成され、予算、執行、決算、庁舎管理、外部資金管理、入札執行、庶務、外来者への対応などの業務を担っている。

ウ 研究課（13名）

研究課は、研究課長及び企画調整担当部長の2名の枠がある。しかし、平成23年度では、企画調整担当部長は空席であり、企画調整部門のリーダーが主にその任に当たり、次長兼管理課長が一部を担っている。

研究課は、企画調整部門、調査研究部門、観測監視部門の3部門からなっている。

企画調整部門は、5名で構成され、リーダー1名のほか研究課2名が兼務している。

調査研究部門は、研究課のリーダー1名のほか、9名の研究職員、特別研究員、技能技師から構成され、温泉、地下水、地質、地震・火山の各分野に分かれて調査・研究を行っている。

温泉分野は研究職の2名、地下水分野が研究職の1名と特別研究員1名（※）、地質分野が研究職2名と岩石薄片等を作製している技能技師1名、地震・火山分野が研究職3名と再任用職員1名、観測監視部門はリーダー1名と研究職4名、再任用職員1名で構成（全て兼任）されている。

※特別研究員制度：平成6年4月に科学技術振興課が創設した制度である。県試験研究機関の研究機能を高度化させるため、研究テ

マを明示し、公募によって外部の（博士号取得者または準ずる）研究者を試験研究機関に非常勤職員として受け入れる制度である。給与を含めて全ての経費を、試験研究機関が予算措置することになっている。

6-2-1 職員歴

当所の50年の歴史の中で、歴代所長は12名を数えている（表6-2-1）。

表6-2-2に1961（昭和36）年の創立時から2012（平成23）年4月現在までの職員の異動をまとめた。これまで、当所に在籍した職員は延べ107名である。図6-2-1に、1989（平成元）年以降の研究課に在籍した職員の年齢構成を示す。1989年当時に見られた30～40歳の職員が居ないというギャップは2012年現在まで同様な状況が続き、50～60歳の管理職に当たる年代のギャップとなっている。

表6-2-1 歴代所長

歴代	就任年	氏名	発令事項
1	1961年	栗原 忠夫	小田原保健所長兼務
2	1963年	林 秀	小田原保健所長兼務
3	1966年	轟 秀夫	小田原保健所長兼務
4	1968年	関本 一雄	衛生部参事兼務
5	1969年	大木 靖衛	内部昇格
6	1990年	久保 清治	環境部次長兼務（7月～8月）
7	1990年	平野 富雄	内部昇格（9月）研究部長兼務
8	1997年	長瀬 和雄	内部昇格
9	1999年	森谷 恒和	環境部技監兼務（4月～5月）
10	1999年	平野 浩二	環境科学センターより転入
11	2003年	本多 久男	環境科学センターより転入
12	2009年	吉田 明夫	新規採用

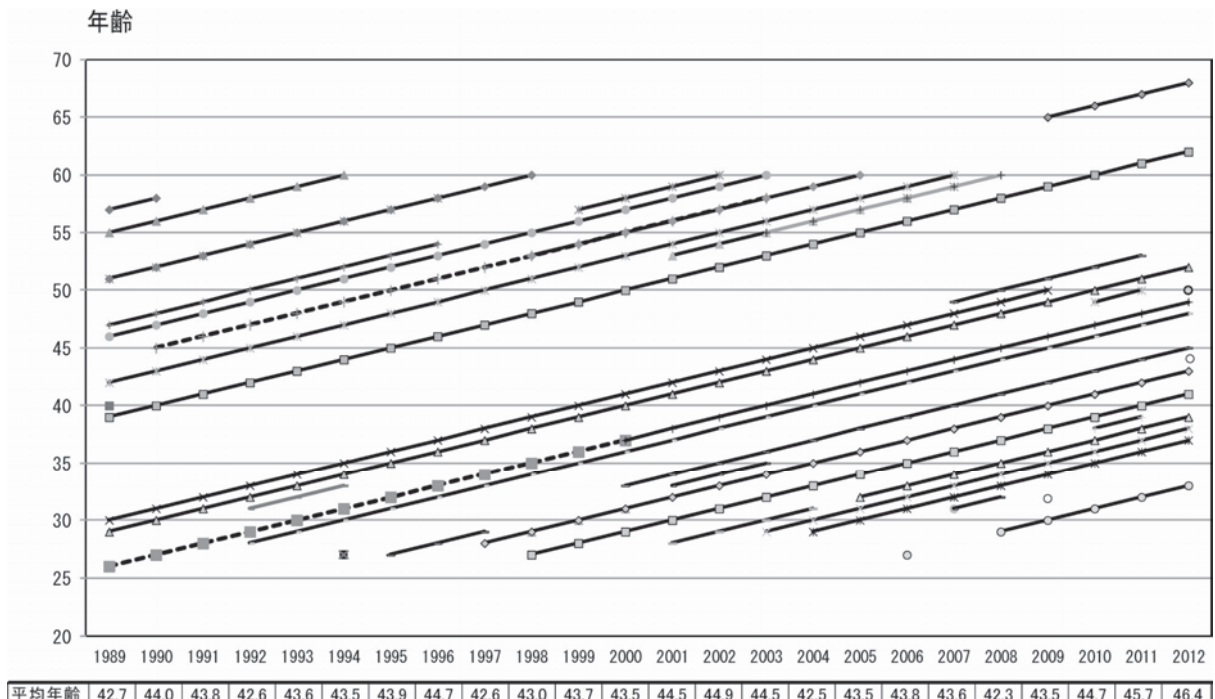


図6-2-1 研究課職員の年齢構成（1989年から2012年まで、管理課職員は除く）

表6-2-2 職員の異動

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1961年 昭和36年	8	所長 主査 主事 主事補 技師 技師 技師	栗原 忠夫 菅野 三郎 高橋 惣一 奥川 照代 荻野 喜作 大木 靖衛 高橋 一郎 長塚 綾子	転入（小田原保健所長兼務） 転入（衛生研究所科学科兼務） 転入（小田原出納事務所） 転入（小田原保健所） 転入（衛生部環境衛生課） 新規採用 新規採用 新規採用
1962年 昭和37年	10	所長代理 技師補 技手 主事補	杉本 光夫 広田 茂 小梶 藤幸 奥川 照代	転入（小田原保健所総務課） 新規採用 転入（松田保健所総務課） 退職
1963年 昭和38年	12	所長 所長 主事補 技師 技師 庁務作業員	栗原 忠夫 林 秀 高橋ミネ子 高橋 一郎 平野 富雄 守矢 正則	転出（衛生部部長） 転入（小田原保健所長兼務） 転入（小田原保健所総務課） 転出（工業試験所樹脂科） 新規採用 転入（小田原保健所総務課）
1964年 昭和39年	12	所長代理 所長代理 主事補	杉本 光夫 高橋 惣一 木下 偉	転出（松田保健所総務課） 内部昇格 新規採用
1965年 昭和40年	12	主事 主事	高橋ミネ子 青木智恵子	転出（足柄下地方事務所林務課） 転入（小田原家畜保健衛生所）
1966年 昭和41年	13	所長 所長 主事 主事 技師	林 秀 轟 秀夫 木下 偉 伊藤 則之 大口 健志	転出（教育長参事） 転入（小田原保健所長兼務） 転出（衛生部予防課） 転入（中地方事務所総務課） 新規採用
1967年 昭和42年	12	所長代理 庶務課長 主事	高橋 惣一 穉津 正雄 青木智恵子	転出（民生部国府実修学校庶務課） 転入（農業会館） 退職
1968年 昭和43年	16	所長 所長 主事補 主任研究員 技師 技師 技師 技師補	轟 秀夫 関本 一雄 沢村 紀子 平賀 士郎 大口 健志 小鷹 滋郎 小沢 清 河西 正男	退職 転入（衛生部参事兼務） 転入（企画調査部広報課） 東京大学地震研究所より割愛 退職 新規採用 新規採用 新規採用
1969年 昭和44年	15	所長 所長 管理課長 管理課長 主査(技術) 主事補 主事補 技師	関本 一雄 大木 靖衛 穉津 正雄 久保田 博 菅野 三郎 沢村 紀子 鈴木 道子 横山 尚秀	退職 内部昇格 転出（企業庁電気局足柄事務所） 転入（高座愛甲福祉事務所） 兼務解除（公害センター） 退職 転入（足柄下地方事務所県民課） 新規採用
1970年 昭和45年	17	技師 技師 技師 技師	田島 綾子 (旧姓 長塚) 長瀬 和雄 栗屋 徹 大山 正雄	転出（衛生研究所食品栄養科） 転入（県立博物館学芸課） 新規採用 新規採用
1971年 昭和46年	17	技師補 技師補	河西 正男 伊東 博	退職 新規採用
1972年 昭和47年	18	管理課長 管理課長 技師補	久保田 博 牧野 弘美 落合 博	転出（民生部秦野精華園） 転入（足柄上病院経理課） 新規採用

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1973年 昭和48年	17	主任主事 主任主事 主事 主事 技師補	伊藤 則之 井上 喜弘 鈴木 道子 小林 絹枝 落合 博	転出 (足柄下農林事務所管理課) 転入 (厚木建築事務所) 退職 転入 (平塚保健所衛生課) 転出 (相模川総合整備事務所)
1974年	17			
1975年	17			
1976年 昭和51年	17	主任主事 主任主事 主事 主事	井上 喜弘 栗原 伸孔 小沢 絹枝 (旧姓 小林) 渋谷 一代	転出 (西部治山事務所管理課) 転入 (小田原青少年会館) 転出 (秦野保健所管理課) 転入 (平塚商工事務所)
1977年 昭和52年	17	管理課長 管理課長	牧野 弘美 石川 敏之	転出 (松田土木事務所工事契約課) 転入 (小田原建築事務所)
1978年 昭和53年	16	技師	小梶 藤幸	転出 (小田原保健所管理課)
1979年 昭和54年	16	主任主事 主任主事 主事 主事 主任研究員 主任研究員	栗原 伸孔 井上 皓子 渋谷 一代 二見 和義 広田 茂 杉山 茂夫	転出 (秦野保健所管理課) 転入 (小田原土木事務所管理課) 転出 (小田原保健所管理課) 転入 (民生部国民健康保健課) 転出 (小田原保健所温泉課) 転入 (小田原保健所温泉課)
1980年 昭和55年	16	研究部長	平賀 士郎	内部昇格
1981年	16			
1982年 昭和57年	16	管理課長 管理課長 主査 技師	石川 敏之 青木 繁直 小沢 清 石坂 信之	定年退職 転入 (出納局指導課) 転出 (環境部水質保全課) 転入 (環境部大気保全課)
1983年 昭和58年	15	技能技師	守矢 正則	定年退職
1984年 昭和59年	15	主任主事 主査	二見 和義 野谷 栄一	転出 (環境部水質保全課) 転入 (川崎県税事務所直税第二課)
1985年 昭和60年	15	管理課長 管理課長	青木 繁直 諸星 忠義	転出 (小田原出納事務所) 転入 (企画部電算システム課)



写真6-3-1 旧庁舎にて (1985年1月)

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1986年 昭和61年	15	主査 主任研究員	栗屋 徹 鈴木 正明	転出（環境部水質保全課） 転入（公害センター大気課）
1987年 昭和62年	15	研究部長 研究部長 主査 主査 技師	平賀 士郎 荻野 喜作 野谷 栄一 橋井 秀雄 棚田 俊收	死去 内部昇格 転出（環境部自然保護課） 転入（農業大学校管理課） 新規採用（10月1日付）
1988年	15			
1989年 昭和64年	16	管理課長 管理課長 副主幹 主査 研究部長 研究部長 技師 技能員	諸星 忠義 米山 旭三 井上 皓子 関 節子 大木 喜作 平野 富雄 八巻 和幸 松沢 親悟	転出（松田土木事務所工事契約課） 転入（津久井保健所保健予防課） 定年退職 転入（小田原保健所真鶴支所） 定年退職 内部昇格 新規採用 新規採用
1990年 平成2年	15	所長 所長 所長 主査 主査 主任研究員 主任研究員	大木 靖衛 久保 清治 平野 富雄 橋井 秀雄 阿久津 實 鈴木 正明 栗屋 徹	退職（6月） 転入出（環境部次長兼務 7～8月） 内部昇格（研究部長兼務 9月） 転出（足柄上保健所管理課） 転入（小田原城北工業高校） 転出（公害センター特殊環境科） 転入（環境部水質保全課）



写真6-3-2 旧庁舎の玄関前にて（1993年1月）

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1991年 平成3年	17	管理課長 管理課長 副主幹 技師	米山 旭三 諸星 実 安藤 昌夫 板寺 一洋	定年退職 転入（小田原青少年会館） 転入（大和保健所保健予防課） 新規採用（1月16日付）
1992年 平成4年	17	研究部長 主査 主査	小鷹 滋郎 関 節子 森川 和代	内部昇格 転出（小田原県税事務所） 転入（箱根老人ホーム）
1993年	17			
1994年 平成6年	17	研究部長 研究部長 副主幹 主任研究員 特別研究員	小鷹 滋郎 長瀬 和雄 安藤 昌夫 小竹由紀子 （旧姓 平田） 山本 肇	定年退職 内部昇格 転出（商工指導センター） 新規採用 採用（任期付非常勤職員）
1995年 平成7年	17	副主幹 副主幹 専門研究員 主任研究員 技師 特別研究員	阿久津 實 外館 幸夫 横山 尚秀 小沢 清 元木 章博 山本 肇	転出（箱根自然公園管理事務所管理課） 転入（大阪物産観光情報センター） 転出（環境科学センター水質環境部） 転入（県央地区行政センター環境保全課） 新規採用 退職
1996年 平成8年	17	副主幹 主査 主査	日比野英俊 森川 和代 福島美恵子	転入（市町村交流職員 南足柄市） 転出（酒匂川下水道整備事務所管理課） 転入（国府実修学校管理課）
1997年 平成9年	16	所長 所長 管理課長 管理課長 副主幹 研究部長 専門研究員 主任研究員 技師	平野 富雄 長瀬 和雄 諸星 実 大村 総治 日比野英俊 横山 尚秀 杉山 茂夫 小竹由紀子 宮下 雄次	定年退職 内部昇格 定年退職 転入（横須賀労働センター労働福祉課） 転出（市町村交流職員 南足柄市） 転入（環境科学センター） 転出（湘南地区行政センター） 退職 新規採用



写真6-3-3 新庁舎にて（1998年1月）

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1998年 平成10年	17	副主幹 副主幹 技師 技師 技師	外館 幸夫 遠藤 清 元木 章博 萬年 一剛 小田 義也	転出（農業総合研究所） 転入（足柄上保健福祉事務所） 退職 新規採用 新規採用（11月1日付）
1999年 平成11年	17	所長 所長 所長 副主幹 副主幹	長瀬 和雄 森谷 恒和 平野 浩二 福島美恵子 北村美千子	定年退職 転入出（環境部技監兼務 4～5月） 転入（環境科学センター企画調整 6月1日付） 転出（西部漁港事務所管理課） 転入（平塚出納事務所）
2000年 平成12年	17	管理課長 管理課長 専門研究員	大村 総治 福本 義雄 栗屋 徹	定年退職 転入（水産総合研究所相模湾試験場） 業務辞令発令（衛生部生活衛生課技幹）
2001年 平成13年	19	副主幹 副主幹 副主幹 副主幹 主任研究員 主任研究員 技師 技師 特別研究員 特別研究員	北村美千子 遠藤 清 柳川サカエ 加藤 正造 八巻 和幸 菊川 城司 小田 義也 代田 寧 村瀬 圭 丹保 俊哉	退職 転出（厚木児童相談所管理課） 転入（秦野保健福祉事務所管理課） 転入（おおいそ学園管理課） 退職 転入（県央地区行政センター環境保全課） 退職（東京都立首都大学） 転入（環境科学センター環境工学） 採用（任期付非常勤職員10月1日付） 採用（任期付非常勤職員10月1日付）
2002年 平成14年	19	管理課長 管理課長 研究部長 研究部長	福本 義雄 志村 哲雄 横山 尚秀 倉石 隆介	定年退職 転入（総合療育相談センター管理課） 転出（環境科学センター環境工学） 転入（安全防災局工業保安課）



写真6-3-4 2001年1月の職員

年	職員数	職名	氏名	発令事項
2003年 平成15年	19	所長 所長 専門研究員 技師	平野 浩二 本多 久男 栗屋 徹 原田 昌武	定年退職 転入（環境科学センター企画調整） 転出（湘南地区行政センター環境保全課6月1日付） 採用（任期付研究員）
2004年 平成16年	18	副主幹 主事 専門研究員 特別研究員 特別研究員 臨時技師 特別研究員 特別研究員	柳川サカエ 石井恵美子 大山 正雄 村瀬 圭 丹保 俊哉 丹保 俊哉 小田原 啓 町田 功	定年退職 再任用（松田土木事務所管理課） 定年退職 任期満了 任期満了 臨時任用職員採用 採用（非常勤職員） 受入（日本学術振興会特別研究員）
2005年 平成17年	18	技師 臨時技師	本多 亮 丹保 俊哉	新規採用 任期満了
2006年 平成18年	18	研究部長 研究部長 副主幹 副主幹 専門研究員 技師 特別研究員 技師 技師 特別研究員 再任用 非常勤 特別研究員	倉石 隆介 藤掛 敏夫 加藤 正造 田中 一樹 小沢 清 原田 昌武 小田原 啓 原田 昌武 小田原 啓 行竹 洋平 石井恵美子 石井恵美子 町田 功	転出（環境科学センター情報交流） 転入（環境科学センター企画） 転出（総合防災センター管理課） 転入（小田原土木事務所許認可指導課） 定年退職 任期満了 退職 新規採用 新規採用 採用（非常勤職員） 任期満了 採用 任期満了



写真6-3-5 2004年1月の職員

年	職員数	職名	氏名	発令事項
2007年 平成19年	19	管理課長 管理課長 研究部長 企画調整 担当部長 特別研究員 特別研究員 専門員 事務委託	志村 哲雄 鳥居 幸夫 藤掛 敏夫 杉原 英和 永井 悟 岩國真紀子 相原 勝治 石井恵美子	定年退職 転入（企業庁箱根水道営業所管理課） 退職 転入（安全防災局災害消防課6月1日付） 採用（非常勤職員 8月1日付） 採用（非常勤職員10月1日付） 再任用（松田土木事務所許認可指導課） 任期満了
2008年 平成20年	18	専門研究員 技 師 特別研究員	石坂 信之 行竹 洋平 岩國真紀子	定年退職 新規採用 任期満了
2009年 平成21年	17	所 長 所 長 特別研究員 専門員	本多 久男 吉田 明夫 永井 悟 相原 勝治	定年退職 新規採用（任期付） 任期満了 任期満了
2010年 平成22年	18	次 長 管理課長 研究課長 副主幹 副主幹 主任研究員 特別研究員 特別研究員 主任専門員	杉原 英和 鳥居 幸夫 明田川 保 田中 一樹 市川 剛弘 棚田 俊收 セイラー・ライオン・ジョセフ 鈴木 秀和 柴本 正	内部昇格（管理課長兼務） 転出（県立二宮高校） 新規採用（気象庁より任期付き割愛） 定年退職 転入（食肉衛生検査所管理課） 退職（防災科学技術研究所） 採用（非常勤職員1月5日付）/任期満了 採用（非常勤職員） 再任用（企業庁厚木水道営業所管理課）
2011年 平成23年	17	専門研究員 主任専門員	伊東 博 伊東 博	定年退職 再任用
2012年 平成24年	17	次 長 次 長 研究課長 研究課長 特別研究員 特別研究員	杉原 英和 天野 勇 明田川 保 宮岡 一樹 鈴木 秀和 金 幸隆	転出（安全防災局危機管理対策課） 転入（総務局基地対策課） 任期満了（気象庁） 新規採用（気象庁より任期付き割愛） 任期満了（駒沢大学） 採用（非常勤職員）



写真6-3-6 2008年3月の職員

6-3 研究成果
6-3-1 共同研究

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
22.4.1 29.3.31	(独)産業技術総合研究所	神奈川県西部地震および東海地震の予測のための地下水等観測・研究	板寺一洋 原田昌武
21.4.1 23.3.31	(独)産業技術総合研究所	関東南西部の温泉に付随する可燃性天然ガスに関する地質学的・地球化学的研究	代田 寧 小田原啓
21.4.1 23.3.31	法政大学文学部	県内主要湧水の水質および安定同位体比による地下水流動系の把握と湧水マップの作成	宮下雄次
20.4.1 25.3.31	文部科学省受託研究 (名古屋大学分担)	ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究 (GPS観測による詳細なひずみ分布の解明)	原田昌武
20.9.1 23.3.31	(独)防災科学技術研究所	GPSによる神奈川県西部地震震源域周辺の地殻変動観測に関する共同研究	原田昌武

H21

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
17.4.1 22.3.31	(独)産業技術総合研究所	神奈川県西部地震および東海地震の予測のための地下水観測・研究	棚田俊收 板寺一洋
20.4.1 22.3.31	(独)防災科学技術研究所	伊豆衝突帯周辺域における詳細な震源および応力場分布の推定	行竹洋平
20.4.1 25.3.31	文部科学省受託研究 (名古屋大学分担)	ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究 (GPS観測による詳細なひずみ分布の解明)	原田昌武
20.9.1 23.3.31	(独)防災科学技術研究所	GPSによる神奈川県西部地震震源域周辺の地殻変動観測に関する共同研究	原田昌武
21.4.1 22.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(A)	伊豆衝突帯周辺域におけるテクトニクスに関する研究	行竹洋平
21.4.1 22.3.31	生命の星・地球博物館、東海大学	芦ノ湖湖底の微地形および地質構造に関する調査	小田原啓
21.4.1 22.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	関東地方の地震テクトニクス	本多 亮
21.4.1 22.3.31	東京大学地震研究所	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
21.4.1 22.3.31	東京大学地震研究所	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査、震源断層モデルの構築等 (1)地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査	棚田俊收
21.4.1 23.3.31	法政大学文学部	県内主要湧水の水質および安定同位体比による地下水流動系の把握と湧水マップの作成	宮下雄次
21.4.1 23.3.31	(独)産業技術総合研究所	関東南西部の温泉に付随する可燃性天然ガスに関する地質学的・地球化学的研究	代田 寧 小田原啓

H20

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
17.4.1 22.3.31	(独)産業技術総合研究所	神奈川県西部地震および東海地震の予測のための地下水観測・研究	板寺一洋 棚田俊收
20.4.1 21.3.31	東京大学地震研究所	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
20.4.1 21.3.31	東京大学地震研究所	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査、震源断層モデルの構築等 (1)地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査	棚田俊收
20.4.1 21.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	フィリピン海プレート北端部の運動モデルの構築	原田昌武
20.4.1 25.3.31	文部科学省受託研究 (名古屋大学分担)	ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究 (GPS観測による詳細なひずみ分布の解明)	原田昌武
20.9.1 23.3.31	(独)産業技術総合研究所	GPSによる神奈川県西部地震震源域周辺の地殻変動観測に関する共同研究	原田昌武
20.7.30 22.3.31	(独)産業技術総合研究所	伊豆衝突帯周辺域における詳細な震源および応力場分布の推定	行竹洋平

20.9.1 21.3.31	東海大学、 生命の星・地球博物館	小田原市根府川沿岸域の海底微地形および地質構造調査	小田原啓
20.4.1 21.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	関東地方の地震テクトニクス	本多 亮

H19

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
18.4.1 19.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	関東地方の地震テクトニクス	棚田俊收
19.4.1 20.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(A)	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
18.4.1 20.3.31	法政大学文学部	三浦半島南部地域における水・物質収支と水質形成機構の解明	宮下雄次
19.4.1 20.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	カルデラの構造と活動そして現在—Out of rangeへの挑戦	萬年一剛
19.4.1 20.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	長期的火山活動評価の定量化	萬年一剛
19.4.1 20.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究(B)	フィリピン海プレート北端部の運動モデルの構築	原田昌武

H18

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
17.4.1 22.3.31	(独)産業技術総合研究所	神奈川県西部地震および東海地震の予測のための地下水観測・研究	板寺一洋 棚田俊收
18.4.1 19.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
18.4.1 19.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	フィリピン海プレート北端部の運動モデルの構築	原田昌武
18.4.1 19.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	カルデラの構造と活動そして現在—Out of rangeへの挑戦	萬年一剛
18.4.1 19.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	長期的火山活動評価の定量化	萬年一剛
18.4.1 20.3.31	法政大学文学部 地理学教室	三浦半島南部地域における水・物質収支と水質形成機構の解明	宮下雄次

H17

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
17.4.1 22.3.31	(独)産業技術総合研究所	神奈川県西部地震および東海地震の予測のための地下水観測・研究	板寺一洋 棚田俊收
17.4.1 18.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
17.4.1 18.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	活火山における噴火様式の時代的変遷と長期的噴火予知の基礎的研究	萬年一剛

H16

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
16.4.1 17.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	棚田俊收
16.4.1 17.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	活火山における噴火様式の時代的変遷と長期的噴火予知の基礎的研究	萬年一剛

H15

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
15.4.1 16.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	島弧地殻の変形過程に関する総合集中観測	棚田俊收
15.4.1 16.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	活火山における噴火様式の時代的変遷と長期的噴火予知の基礎的研究	萬年一剛

H14

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
14.4.1 15.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	島弧地殻の変形過程に関する総合集中観測	棚田俊收
14.4.1 15.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	震源過程と強震動生成メカニズムの解明	棚田俊收
14.4.1 15.3.31	(財)資源・環境観測解析センター調査研究部	平成14年度石油資源遠隔探知技術の研究開発	棚田俊收

H13

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
13.4.1 14.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	島弧地殻の変形過程に関する総合集中観測	棚田俊收
13.4.1 14.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	震源過程と強震動生成メカニズムの解明	棚田俊收
13.4.1 14.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	高噴火ポテンシャル火山における噴火の規模・様式に関する研究	萬年一剛

H12

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	島弧地殻の変形過程に関する総合集中観測	棚田俊收 小田義也
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	高噴火ポテンシャル火山における噴火の規模様式に関する研究	萬年一剛
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	神奈川県下及び周辺地域で観測される強震動波形データの特徴に関する研究	八巻和幸
12.2.1 14.4.1	茨城大学理学部	乙女2号温泉井の岩石試料の全岩化学組成分析	萬年一剛

H11

期間	共同研究機関	研究テーマ	担当者
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究A	島弧地殻の変形過程に関する総合集中観測	棚田俊收 小田義也
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	リアルタイム地震情報システムによる地震源及び強震動の研究	八巻和幸
11.4.1 12.3.31	東京大学地震研究所 特定共同研究B	高噴火ポテンシャル火山における噴火の規模様式に関する研究	萬年一剛
12.2.1 14.4.1	茨城大学理学部	乙女2号温泉井の岩石試料の全岩化学組成分析	萬年一剛

6-3-2 受託研究

年度	研究名	依頼機関
1968	神奈川県津久井町神の川流域における温泉地質調査	神奈川県衛生部
	神奈川県津久井町神の川流域における試維地質調査	神奈川県衛生部
1969	秦野盆地の地質と地下水	神奈川県内広域水道
	神奈川県伊勢原町大山地区温泉地質調査報告書	神奈川県衛生部
	神奈川県伊勢原町大山における試錐調査	神奈川県衛生部
	伊勢原付近の地質と地下水	伊勢原町
1970	大磯丘陵および相模野台地重力探査報告書	神奈川県内広域水道
	箱根火山の温泉、箱根町集団施設地区計画調査報告書	神奈川県
1971	神奈川県水道企業団の導水路トンネルが秦野盆地の地下水におよぼす影響調査	秦野市
	秦野盆地における弾性波探査	秦野市
	箱根外輪山温泉調査報告	神奈川県衛生部
1972	秦野盆地の地下水の適性利用量調査	秦野市
	箱根外輪山における温泉水位の連続観測昭和47年（1972）	神奈川県衛生部
1974	箱根カルデラ河川流出水の溶存成分に対する温泉の影響について	箱根町
	中井町五所宮地区の地下水調査	中井町
1975	三保ダム地域弾性波探査	神奈川県企業庁
	三保ダム地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書	神奈川県企業庁
1976	三保ダム地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書（Ⅱ）	神奈川県企業庁
	三保ダム貯水池周辺の地質図修正業務報告書（Ⅰ）	神奈川県企業庁
	仙石原湿原環境調査報告書 地質調査の部	神奈川県農政部
	仙石原湿原の地下水調査 文化財指定地周辺	神奈川県農政部
1977	三保ダム貯水池周辺地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書	神奈川県企業庁
	三保ダム地質概要書	神奈川県企業庁
	箱根温泉総合調査 湯本地区	箱根町
	地下水許容安全揚水量算定調査	神奈川県環境部
1978	昭和53年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉総合調査 中央地区	箱根町
	箱根カルデラの水収支調査報告書	箱根町
	地下水許容安全揚水量算定調査	神奈川県環境部
1979	浄水管理センター建設上辛が周辺地下水に及ぼす影響調査	秦野市
	昭和54年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉総合調査 山岳地区	箱根町
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1980	昭和55年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉誌	箱根町
	地下水利用等基礎調査	神奈川県企画部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1981	昭和56年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	湯河原の地下水調査	神奈川県衛生部
1982	昭和57年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部

年度	研究名	依頼機関
1983	産業廃棄物最終処分場周辺の地下水流動機構の解析等の報告書	神奈川県環境部
	昭和58年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部
1984	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	中川・鶴巻の地下水調査	神奈川県衛生部
1985	昭和59年度 大涌沢地すべり対策調査報告書放熱量調査	神奈川県土木部
	昭和59年度 大涌沢地すべり対策調査報告書水質調査	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	神奈川県ラドン調査	神奈川県環境部
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省
	箱根河川流量調査	箱根町企画課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1986	昭和60年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省
	箱根河川流量調査	箱根町企画課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1987	昭和62年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1988	昭和63年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	南関東の第四紀火山	地震予知総合研究振興会
	地球化学的観測	地震予知総合研究振興会
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1989	平成元年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	1923年関東地震の神奈川県西部における地盤災害の特徴	地震予知総合研究振興会
	箱根芦ノ湖の水位変動	地震予知総合研究振興会
	地球化学的観測	地震予知総合研究振興会
	湧水調査	神奈川県環境部
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1990	平成2年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	地下水保全対策 1. 汚染 2. 流動 3. 地下環境	神奈川県環境部
	湧水調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	温泉観測井測定事業	神奈川県衛生部
1991	汚染源特定手法確立調査	神奈川県環境部水質保全課
	地下環境調査（地下水流動機構解明調査）	神奈川県環境部水質保全課
	地下環境調査（地下環境情報整備）	神奈川県環境部水質保全課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	温泉観測測定事業	神奈川県衛生部環境衛生課
	温泉集中化評価事業	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所

年度	研究名	依頼機関
1992	汚染源特定手法確立調査	神奈川県環境部水質保全課
	地下環境調査（地下水流動機構解明調査）	神奈川県環境部水質保全課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
1993	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
1994	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
1995	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
	箱根・湯河原地区ヒ素汚染負荷割合調査	神奈川県環境部水質保全課
1996	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
	箱根・湯河原地区ヒ素汚染負荷割合調査	神奈川県環境部水質保全課
	地盤沈下規制手法調査	神奈川県環境部水質保全課
1997	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
	地震調査観測体制整備検討会	神奈川県地震対策課
	地下水汚染源対策調査	神奈川県環境部水質保全課
	箱根・湯河原地区ヒ素汚染負荷割合調査	神奈川県環境部水質保全課
1998	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部小田原土木事務所
	地下水汚染源対策調査	神奈川県環境部水質保全課
	地下水硝酸性窒素調査	神奈川県環境部水質保全課（環境庁委託）
	箱根・湯河原地区ヒ素汚染負荷割合調査	神奈川県環境部水質保全課
1999	大深度温泉井実態調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部整備部小田原土木事務所
	地下水汚染源対策調査	神奈川県環境農政部大気水質課
2000	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部整備部小田原土木事務所
	地下水汚染源対策調査	神奈川県環境農政部大気水質課
2001	大深度温泉井影響調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県土木部整備部小田原土木事務所
	水源地下水動態調査	神奈川県企業庁水道局箱根営業所
	土壌・地下水汚染対策	神奈川県環境農政部大気水質課
	相模湖・津久井湖窒素発生源実態調査	神奈川県環境農政部大気水質課
	硝酸性窒素による広域地下水汚染調査	神奈川県環境農政部大気水質課
ブナ林衰退の機構解明のための研究調査	神奈川県環境農政部緑政課	

年度	研究名	依頼機関
2002	大深度温泉井影響調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
	水源地下水動態調査	神奈川県企業庁水道局箱根営業所
	土壌・地下水汚染対策	神奈川県環境農政部大気水質課
	ブナ林衰退の機構解明のための研究調査	神奈川県環境農政部緑政課
2003	大深度温泉井データベース化事業	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
	硝酸性窒素による広域地下水汚染の研究	神奈川県環境農政部大気水質課
	ブナ林衰退の機構解明のための研究調査	神奈川県環境農政部緑政課
2004	平成16年度大深度温泉井実態調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
	ブナ林衰退の機構解明のための研究調査	神奈川県環境農政部緑政課
	三浦市宮田台地硝酸性窒素実態調査	神奈川県環境農政部大気水質課
	硝酸性窒素による広域地下水汚染の研究	神奈川県環境農政部大気水質課
2005	平成17年度大深度温泉井実態調査	神奈川県衛生部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
	三浦市宮田台地硝酸性窒素実態調査	神奈川県環境農政部大気水質課
2006	平成18年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉部生活衛生課
2007	平成19年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
2008	平成20年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
2009	平成21年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉部生活衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備部小田原土木事務所
2010	平成22年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉局環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備局小田原土木事務所
2011	平成23年度温泉保護対策調査	神奈川県保健福祉局環境衛生課
	大涌沢地すべり対策調査	神奈川県県土整備局小田原土木事務所

6-3-3 研究所報告

年度	著者名	題名	頁	巻	号	発行年	
1991	温泉地学研究所	温泉地学研究所 30年のあゆみ(特集号)	1-316	23	1	1992	
1992	横山 尚秀 板寺 一洋 小鷹 滋郎 平野 富雄	神奈川県西部の地震予知研究用観測井における地下水位変化の特徴とその要因	1-18	24	1	1992	
	棚田 俊收 八巻 和幸 伊東 博 小鷹 滋郎 大木 靖衛	1989年伊豆半島東方沖群発地震にたいする神奈川県温泉地学研究所地震観測網の観測能力について	19-30	24	1	1992	
	石坂 信之	酸性泥岩の化学的特徴について	1-26	24	2	1993	
	石坂 信之 栗屋 徹 平野 富雄	神奈川県の地下水の主要化学成分について	27-48	24	2	1993	
	大山 正雄 久保寺公正	箱根カルデラ東部の温泉水位の特性	49-60	24	2	1993	
	杉山 茂夫 鈴木 正明	箱根温泉の温度と湧出量の観測(1987-1989)	61-76	24	2	1993	
	1993	栗屋 徹 長瀬 和雄 横山 尚秀 杉山 茂夫 平野 富雄	真鶴地域の地下水の水系区分と水質	1-18	25	1	1994
長瀬 和雄 栗屋 徹 横山 尚秀 杉山 茂夫 上田 敏夫 井上 博明 藤崎 克博 新藤 静夫 大木 靖衛		真鶴地域の水文地質と地下水収支	19-30	25	1	1994	
横山 尚秀 板寺 一洋 山崎 宣昭 小山 潤 角南 基亮		地下水流動システムの開発とその利用	31-52	25	2	1994	
大山 正雄		湯河原温泉の水頭の特性	53-65	25	2	1994	
1994		大山 正雄 石田 敏夫 石坂 信之 平野 富雄	丹沢山地東北部の深部温泉調査	1-10	26	1・2	1995
		大山 正雄	箱根火山の温泉の水位・湧出量・温度の観測 1993(平成5)年	11-20	26	1・2	1995
		横山 尚秀 小鷹 滋郎 板寺 一洋 長瀬 和雄 杉山 茂夫	神奈川県西部地震予知研究のための地下水位観測施設と地下水位解析	21-36	26	1・2	1995
	棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 小鷹 滋郎 平野 富雄	神奈川県温泉地学研究所のGPS連続自動観測システム	37-48	26	1・2	1995	
1995	平野 富雄	はじめに	1-4	27	1・2	1996	
	長瀬 和雄	なぜ神奈川に地震と活断層があるのだろうか	5-10	27	1・2	1996	
	棚田 俊收	神奈川における地震活動	11-18	27	1・2	1996	
	長瀬 和雄	活断層とは	19-22	27	1・2	1996	
	長瀬 和雄 小沢 清 平田由紀子	神奈川の活断層	23-67	27	1・2	1996	
1996	長瀬 和雄 栗屋 徹 小沢 清 板寺 一洋	有機塩素系化合物による地下水汚染の対策	1-12	28	1	1997	

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年	
1996	栗屋 徹 長瀬 和雄 板寺 一洋 平野 富雄 横山 尚秀	地下水汚染源特定のための調査手法	13-44	28 1	1997	
	平野 富雄	温泉分析の二つの役割と温泉の定義および分析方法決定の経過について	45-52	28 2	1997	
	栗屋 徹 石坂 信之 平野 富雄	成分から見た神奈川の温泉の特徴	53-76	28 2	1997	
	石坂 信之 栗屋 徹	温泉分析、課題と新しい手法	77-80	28 2	1997	
1998	長瀬 和雄	巻頭言	1-2	29 1・2	1999	
	温泉地学研究所	温泉地学研究所における「神奈川県西部地震」の取り組み	3-40	29 1・2	1999	
	棚田 俊收 田中 丈博	温泉地学研究所の地震観測網におけるマグニチュードの算出式	41-46	29 1・2	1999	
	棚田 俊收	温泉地学研究所の地震観測網における震源決定精度と検知能力	47-56	29 1・2	1999	
	板寺 一洋	温泉地学研究所の観測井における地下水位変化の特徴とその補正について	57-64	29 1・2	1999	
	大山 正雄 棚田 俊收 伊東 博	箱根の地震による温泉湧出の変化	65-70	29 1・2	1999	
	栗屋 徹 石坂 信之 大山 正雄	揚湯装置の変更に伴う温泉成分の変化	1-8	30 1・2	1999	
	栗屋 徹 板寺 一洋 横山 尚秀 長瀬 和雄	地下水の複数汚染源の調査手法	9-18	30 1・2	1999	
	日比野英俊 栗屋 徹 板寺 一洋 横山 尚秀 長瀬 和雄 平野 富雄	酒匂川右岸地域の自噴井戸	19-32	30 1・2	1999	
	日比野英俊 栗屋 徹 板寺 一洋 横山 尚秀 長瀬 和雄 平野 富雄	南足柄の農業用水と湧水	33-40	30 1・2	1999	
	小沢 清 江藤 哲人 大山 正雄 長瀬 和雄 松沢 親悟	温泉掘削井による神奈川県中央部の地下地質	41-52	30 1・2	1999	
	蟹江 康光 堀内 誠示	逗子市沼間における1600mボーリングコアの石灰質ナノ化石年代	53-64	30 1・2	1999	
	1999	万年 一剛	箱根・下湯場地域で掘削された2本の温泉井のボーリング地質と温泉	1-15	31 1	1999
		上杉 陽 小沢 清 万年 一剛 長瀬 和雄	小田原市久野「子供のもり」公園造成地露頭の火山灰層序学的な意義	16-30	31 1	1999
棚田 俊收		神奈川県西部地域における地震発生層の厚みについて	31-44	31 1	1999	
伊東 博 棚田 俊收		箱根火山における最近10年間(1989~1998)の地震活動	45-52	31 1	1999	
板寺 一洋		酸素同位体比を指標とした地下水涵養源推定の試み —酒匂川右岸地域の自噴地下水を例として—	53-56	31 1	1999	
宮下 雄次		足柄平野及び大磯丘陵における過去30年間の地下水位観測結果	57-73	31 1	1999	
万年 一剛 杉山 茂夫		元箱根36号温泉井のボーリング地質と温泉	77-90	31 2	2000	
棚田 俊收 大山 正雄		神奈川県西部地域における地震研究用の泉温観測(1996-1999年)	91-98	31 2	2000	
石坂 信之 松木 泰代		西丹沢における河川水の化学成分の特徴	99-106	31 2	2000	

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年	
1999	粟屋 徹 板寺 一洋 小沢 清 横山 尚秀	地下水汚染の浄化対策	107-116	31 2	2000	
	板寺 一洋	足柄平野南部の地下水の酸素同位体比	117-120	31 2	2000	
	小沢 清	神奈川県山北町の足柄山地西部における温泉井のコアの石灰質ナンノ化石年代	121-126	31 2	2000	
	大山 正雄	共有温泉盟約・営業上申合規則 ー箱根湯本温泉場の明治初期の取決めー	127-138	31 2	2000	
2000	石坂 信之 粟屋 徹	神奈川県各地の温泉水の水素および酸素安定同位体比の特徴	1-6	32	2001	
	宮下 雄次	酒匂川流域における流域平均標高と河川水の酸素同位対比との関係	7-16	32	2001	
	萬年 一剛 板寺 一洋 松坂 進 大山 正雄	箱根町・芦の湯9号温泉井の地質と温泉帯水層	17-24	32	2001	
	小田 義也 棚田 俊収 八巻 和幸 伊東 博	常時および臨時微小地震観測データによる箱根火山地域の地殻構造解析	25-32	32	2001	
	八巻 和幸 小田 義也	移動式地震計による地震観測施設の補助記録および臨時地震観測	33-52	32	2001	
	棚田 俊収 小田 義也	平塚ー裾野測線の地下構造調査(その1) ー平成12年1月15日の人工地震観測結果ー	53-58	32	2001	
	板寺 一洋 棚田 俊収	足柄平野に設置した地震予知研究用地下水位観測井における温度検層結果	59-62	32	2001	
	粟屋 徹 大山 正雄 石坂 信之 板寺 一洋	中川温泉の化学成分	63-66	32	2001	
	粟屋 徹 大山 正雄 石坂 信之	七沢温泉の化学成分	67-70	32	2001	
	粟屋 徹 大山 正雄 石坂 信之	横須賀温泉の化学成分	71-74	32	2001	
	粟屋 徹 大山 正雄 石坂 信之	川崎温泉の化学成分	75-80	32	2001	
	松沢 親悟	温泉地学研究所における多孔質・粒状試料の薄片作製工程	81-86	32	2001	
	2001	横山 泉 棚田 俊収 萬年 一剛	箱根火山地域における補足的重力測定(1999年)	1-10	33	2002
		萬年 一剛 山下 浩之 平田 大二 田口 公則 川手 新一 谷口 英嗣 蛭子 貞二	小田原市根府川で掘削された深さ1500mの温泉井の地質	11-24	33	2002
棚田 俊収 伊東 博 代田 寧 板寺 一洋		神奈川県西部地域における光波測量結果とその特徴について	25-30	33	2002	
棚田 俊収 伊東 博 代田 寧 板寺 一洋		神奈川県西部地域におけるGPS観測結果とその特徴について	31-42	33	2002	
代田 寧 伊東 博 棚田 俊収 八巻 和幸		神奈川県西部地域における最近2年間の傾斜観測結果	43-48	33	2002	

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年	
2001	栗屋 徹 大山 正雄 石坂 信之 板寺 一洋	箱根・湯河原地域における河川水と温泉水のヒ素負荷量	49-70	33	2002	
	栗屋 徹 板寺 一洋 石坂 信之	横浜温泉に含まれる主な化学成分の特徴	71-76	33	2002	
2002	萬年 一剛 内藤 昌平 高橋 正樹	箱根町笛塚・温泉村131号温泉井の地質について	1-8	34	2002	
	板寺 一洋	箱根中央火口丘地域における降水の酸素・水素同位体比について	9-12	34	2002	
	棚田 俊收 馬場 久紀 小田 義也 岩崎 貴哉 一ノ瀬洋一郎 坂 守	平塚-裾野測線の地下構造調査(その2) -静岡県裾野でおこなわれた採石発破の観測結果-	13-18	34	2002	
	棚田 俊收	神奈川県西部地震想定モデルに伴うコサイスマミックな地殻変動	19-26	34	2002	
	丹保 俊哉 棚田 俊收 代田 寧 伊東 博	神奈川県温泉地学研究所における新しいGPS測量システムとその精度について	27-34	34	2002	
	代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	2001(平成13)年箱根群発地震活動に関連した地殻傾斜変動	35-44	34	2002	
	村瀬 圭 棚田 俊收	2001(平成13)年箱根群発地震活動の地震波形解析手法	45-50	34	2002	
	菊川 城司	箱根大涌谷における湧水の水質調査結果 ~2001(平成13)年箱根群発地震に対応して~	51-58	34	2002	
	2003	村瀬 圭 棚田 俊收	地震波に含まれる後続相の解析により得られた2001(平成13)年箱根群発地震活動域の構造的な特徴について	1-8	35	2003
		棚田 俊收 渡辺 英久	人工衛星データを用いた2001(平成13)年箱根群発地震活動における地面温度変化と地殻変動検出の試み	9-16	35	2003
丹保 俊哉 棚田 俊收		地殻変動解析ソフトウェア(CHIKAKUシステム)による神奈川県西部地域周辺のプレート境界における接触解析	17-28	35	2003	
棚田 俊收 馬場 久紀 岩下 篤		平塚-裾野測線の地下構造調査(その3) -2001年箱根発破と2003年三島発破における臨時観測-	29-32	35	2003	
代田 寧 棚田 俊收 原田 昌武 伊東 博		潮汐変化と遠地地震を用いた温泉地学研究所傾斜計センサー方位の検証	33-40	35	2003	
原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 代田 寧		STA/LTA比を用いた傾斜観測データの異常判定に関する検討	41-46	35	2003	
板寺 一洋		地下水位観測データの簡易な補正法と異常判定の基準について	47-52	35	2003	
宮下 雄次		足柄平野の地下水収支解析結果(1999~2001年度)	53-62	35	2003	
宮下 雄次 小沢 清 寺下 明文 渡辺 均 保坂 由文 日比野 英俊 熊澤 重雄 曾我 裕之 高橋 秀夫 山口 裕之 依田 貞彦 岡本 智裕 中戸川 進二		足柄平野及び大磯丘陵における地下水調査結果(1999~2002年)	63-78	35	2003	
菊川 城司		箱根火山における温泉の温度・湧出量・水位の観測結果 1990(平成2)~2002(平成14)年	79-90	35	2003	

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年
2004	宮下 雄次 三村 春雄	相模湖・津久井湖窒素排出源調査結果	1-24	36	2004
	宮下 雄次	神奈川県内における硝酸性窒素汚染地下水の水質、窒素安定同位対比と土地利用との関係	25-42	36	2004
	板寺 一洋 菊川 城司 代田 寧	足柄平野沿岸部の深部塩水の酸素・水素同位対比と水質組成	43-46	36	2004
	原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 丹保 俊哉	温泉地学研究所傾斜観測網で観測された地球潮汐について	47-52	36	2004
	棚田 俊收	箱根群発地震(2004年2月)のアンケート結果 ー箱根町民が体感した震度についてー	53-56	36	2004
	萬年 一剛	鎌倉市に産する瀉利塩 ～住宅床下に発生する白色毛状物質	57-59	36	2004
2005	篠原謙太郎 小沢 清 江藤 哲人 田中裕一郎 川島 眞一	深層ボーリングによる下末吉台地および多摩丘陵上総層群の石灰質ナンノ化石年代層序および地下地質	1-14	37	2005
	小沢 清 江藤 哲人	神奈川県中・東部地域の大深度温泉井の地質および地下地質構造	15-38	37	2005
	町田 功	温度検層時の注水データを用いた透水係数の算出方法	39-44	37	2005
	菊川 城司	木賀温泉自然湧泉・宮城野第6号源泉の経年変化について	45-50	37	2005
	板寺 一洋	箱根仙石原地域における蒸発散量の推定	51-56	37	2005
	棚田 俊收 村瀬 圭 丹保 俊哉	平塚ー裾野測線の地下構造調査(その4) ー2003年関東山地東縁地殻構造探査測線の発破に対する臨時観測ー	57-60	37	2005
	小田原 啓	二宮町地下水位観測井のコア試料にみられる鷹取山層および二宮層群	61-64	37	2005
	小沢 清 堀内 誠示	神奈川県中・東部地域の温泉井および露頭地質試料の石灰質ナンノ化石分析結果	65-74	37	2005
	2006	山下 浩之 萬年 一剛 石塚 治 川手 新一 平田 大二 蛭子 貞二 谷口 英嗣	神奈川県湯河原町宮下で掘削されたボーリングコアの岩相記載と地質学的意義	1-10	38
萬年 一剛 水野 清秀 伊藤 順一 山下 浩之		箱根・強羅付近地下の地質構造 ーとくに湖成堆積物の分布とその堆積環境	11-26	38	2006
岩瀬 康行 江口 孝雄 鈴木 攻祐 本多 亮 棚田 俊收		A-10型絶対重力計で得られた温泉地学研究所の絶対重力値	27-30	38	2006
代田 寧		国府津ー松田断層周辺における土壌ガス中の炭酸ガス	31-34	38	2006
板寺 一洋		芦ノ湖の水温および酸素・水素同位対比の測定結果	35-42	38	2006
原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博		箱根・小田原地域における光波測量とGPSの比較観測	43-46	38	2006
本多 亮 棚田 俊收		S波スプリッティングの解析から明らかになった神奈川県西部地域の異方性の空間的・時間的变化	47-52	38	2006
本多 亮 丹保 俊哉 原田 昌武 伊東 博 板寺 一洋 棚田 俊收		温泉地学研究所におけるウェブ上での地震および地殻変動データ公開用サブシステムの開発	53-62	38	2006
行竹 洋平 棚田 俊收 本多 亮 伊東 博 原田 昌武		温泉地学研究所リアルタイム地震情報処理の信頼性の評価 ー2006年伊豆半島東方沖地震を例にしてー	63-68	38	2006

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年	
2006	行竹 洋平 棚田 俊收 本多 亮 伊東 博 原田 昌武	神奈川県西部域におけるメカニズム解の決定	69-76	38	2006	
	棚田 俊收 伊東 博 板寺 一洋 原田 昌武 本多 亮	測地系移行にともなう地震・地殻変動観測点の座標変換	77-78	38	2006	
	小田原 啓	神奈川県東部、川崎市内の大深度温泉井の地質	79-82	38	2006	
	菊川 城司 萬年 一剛	箱根湯本温泉・湯本第126号源泉の特徴	83-86	38	2006	
	2007	大場 武毅 澤 平 徳泰 大和田道子 森川 徳敏 風早 康平	箱根カルデラ中央火口丘熱水系における火山性流体の化学的進化	1-42	39	2007
大川 直樹 小林 健太		神縄断層系に分布する断層岩類の変形作用と変質過程	43-56	39	2007	
中満 隆博 林 広樹 沢田 順弘 兵頭 政幸 関口 涉次 笠原 敬司		神奈川県西部山北南高感度観測井から得られた火山岩類の古地磁気極性	57-62	39	2007	
棚田 俊收 本多 亮 行竹 洋平 伊東 博 原田 昌武		2005(平成17)年12月30日箱根山南東麓で発生した地震活動	63-66	39	2007	
本多 亮		近地強震計アレイによる震源過程解析の試み —新潟県中越沖地震への適用—	67-72	39	2007	
原田 昌武 伊東 博 棚田 俊收		新しくなった小田原地域の光波観測網とその気象補正について	73-78	39	2007	
菊川 城司 小田原 啓 板寺 一洋		孔底温度から見た神奈川県内の地温勾配	79-84	39	2007	
小田原 啓		小田原市前川の大深度温泉井の地質	85-88	39	2007	
代田 寧 菊川 城司 小田原 啓 板寺 一洋 萬年 一剛 原田 麻子		神奈川県における温泉付随ガス中のメタンガス対策について	89-98	39	2007	
棚田 俊收 伊東 博 原田 昌武 本多 亮		温泉地学研究所地震計室観測台の精密座標	99-100	39	2007	
2008		大場 武毅 代田 寧 澤 平 徳泰 攪上 勇介	箱根カルデラ中央火口丘大涌谷地熱地帯における火山ガス組成の時間変化	1-10	40	2008
		萬年 一剛 笠間 友博 山下 浩之 水野 清秀	箱根町宮城野南部のカルデラフィル堆積物	11-22	40	2008
		棚田 俊收 代田 寧 板寺 一洋	箱根町大涌谷から上湯場付近における硫化水素および二酸化硫黄のガス濃度と地温測定結果	23-28	40	2008
		原田 昌武 岩國真紀子	GEONETデータから推定した神奈川県周辺地域の歪場の特徴	29-34	40	2008

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年
2008	行竹 洋平 棚田 俊收	箱根火山で発生する群発地震の精密震源決定	35-50	40	2008
	永井 悟 棚田 俊收 本多 亮	気象庁一元化震源に基づいた温泉地学研究所地震データベースの整備と今後の課題	51-58	40	2008
	板寺 一洋 原田 昌武 小田原 啓 代田 寧	2008年岩手・宮城内陸地震の震源地周辺における温泉の主要成分	59-64	40	2008
	棚田 俊收 永井 悟 本多 亮 原田 昌武 伊東 博 岩國真紀子	首都直下地震防災・減災特別プロジェクトにおける温泉地学研究所の業務報告(平成19年度)	65-68	40	2008
	永井 悟 棚田 俊收	DAT型レコーダを用いた神奈川県西部における臨時地震観測	69-74	40	2008
	棚田 俊收	2007(平成19)年10月1日神奈川県西部で発生したマグニチュード4.9の地震に関するアンケート結果	75-78	40	2008
	代田 寧 小田原 啓	神奈川県における温泉付随ガスの実態調査結果(第1報)	79-84	40	2008
	棚田 俊收	箱根大涌谷から上湯場付近における地熱活動域での立ち枯れおよび倒木の一因について	85-86	40	2008
	小田原 啓	横浜市及び川崎市内の大深度温泉井の掘削資料から推定される上総層群/三浦層群境界	87-90	40	2008
	萬年 一剛	箱根カルデラ北部で掘削された孔井の地質試料(1998-2008年解析分)	91-130	40	2008
2009	原田 昌武 棚田 俊收 行竹 洋平	2001年箱根群発地震活動に伴った地殻変動による神奈川県西部地震への影響	1-6	41	2009
	原田 昌武 小林 昭夫 細野 耕司 吉田 明夫	2001年箱根群発地震活動以後の箱根から富士山にかけての地殻変動	7-14	41	2009
	寺田 暁彦 攪上 勇介 大場 武 萬年 一剛 代田 寧	箱根火山大涌谷北側斜面の噴気地で得られた地表面温度と放熱量の経験的関係	15-22	41	2009
	萬年 一剛	大涌谷噴気地帯における過熱蒸気ーその歴史と消滅の理由	23-32	41	2009
	江藤 哲人 小沢 清	葉山隆起帯北側地域の大深度温泉井掘削資料から推定される中新統葉山層群の大規模伏在逆断層	33-46	41	2009
	小田原 啓 林 広樹 山下 浩之	神奈川県二宮町梅沢海岸の谷戸層の微化石年代	47-50	41	2009
	岩國真紀子 原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博	温泉地学研究所と国土地理院のGPSデータの統合解析結果から検出した箱根火山の地殻変動	51-56	41	2009
	板寺 一洋 菊川 城司	箱根地域における温泉資源の状況ー実態調査結果にもとづく検討結果ー	57-62	41	2009
	菊川 城司 代田 寧	湯河原温泉の現状ー平成21(2009)年の一斉調査結果からー	63-68	41	2009
	宮下 雄次	可搬型の自噴高測定用パッカーシステムの開発	69-72	41	2009
	代田 寧 小田原 啓	神奈川県における温泉付随ガスの実態調査結果(第2報)	73-76	41	2009
	行竹 洋平 伊東 博 板寺 一洋 原田 昌武 本多 亮 棚田 俊收	箱根火山域における2009年機動的観測の概要	77-80	41	2009
	本多 亮 伊東 博	1970年代に箱根で発生した地震の震源再決定	81-84	41	2009
	棚田 俊收	箱根大涌谷内における物理探査測線の測量	85-88	41	2009

年度	著者名	題名	頁	巻号	発行年
2009	棚田 俊收 本多 亮 原田 昌武 行竹 洋平 伊東 博 杉原 英和	首都直下地震防災・減災特別プロジェクトにおける温泉地学研究所の業務報告(平成20年度)	89-92	41	2009
2010	吉田 明夫	箱根の温泉と群発地震活動と伊豆衝突テクトニクス ー試論ー	1-8	42	2010
	行竹 洋平 武田 哲也 吉田 明夫	伊豆衝突帯北縁部における震源及びメカニズム解分布の特徴	9-18	42	2010
	石垣 祐三 原田 昌武 本多 亮 行竹 洋平 伊東 博 明田川 保	箱根浅発地震活動のETASモデル解析と火山活動度との関連の検討	19-32	42	2010
	明田川 保	地震クラスター抽出手法の改良 ー改良リンク法についてー	33-48	42	2010
	代田 寧 板寺 一洋	2001年以後に箱根火山大涌谷北側斜面に現れた噴気中のガス組成等の時間変化	49-56	42	2010
	原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博	箱根大涌谷北側斜面における火山ガス・地温の連続観測	57-62	42	2010
	板寺 一洋 菊川 城司 代田 寧	湯河原温泉の酸素・水素同位体比	63-66	42	2010
	代田 寧 小田原 啓	神奈川県における温泉付随ガスの実態調査結果(第3報)	67-72	42	2010
	2011	原田 昌武 行竹 洋平 本多 亮 明田川 保 伊東 博 板寺 一洋 吉田 明夫	神奈川県およびその周辺の想定断層面に対する2011年東北地方太平洋沖地震の影響評価	1-12	43
明田川 保		東北地方太平洋沖地震後の内陸地震活動の活発化	13-21	43	2011
吉田 明夫		神奈川県西部地震について	23-28	43	2011
鈴木 秀和 宮下 雄次 高橋 浩 安原 正也		箱根外輪山斜面に分布する湧水の水質および同位体組成	29-38	43	2011
板寺 一洋 菊川 城司 代田 寧		東北地方太平洋沖地震の影響による箱根温泉の変化	39-43	43	2011
行竹 洋平		神縄・国府津ー松田断層帯周辺域における震源分布とメカニズム解の特徴 ー稠密地震観測データを用いてー	45-52	43	2011
明田川 保 本多 亮		神奈川県西部の地震活動 ー温泉地学研究所と気象庁の震源カタログの比較ー	53-63	43	2011
本多 亮		箱根火山で観測された東北地方太平洋沖地震の強震動について	65-71	43	2011
菊川 城司		箱根温泉の泉質分布図	73-79	43	2011

6-3-4 観測だより

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻	号	発行年	
1991	杉山 茂夫 栗屋 徹 平野 富雄	箱根火山の火砕流	1-8	42	23	2	1992	
	伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 小鷹 滋郎	神奈川県西部地域における地震・傾斜観測(1991年)	9-16	42	23	2	1992	
	横山 尚秀 板寺 一洋 小鷹 滋郎	神奈川県西部地域における地下水位観測(1991年)	17-22	42	23	2	1992	
	なまずの会 水位観測班	1990年4月～1991年12月の地下水位観測と地震	23-24	42	23	2	1992	
	栗屋 徹	「なまずの会」地下水位等観測結果(1991年)	25-48	42	23	2	1992	
	伊東 博	地震日誌	49-54	42	23	2	1992	
	平野 富雄	地震の石碑(23)・南足柄市内の地震の石碑(その1)	55-59	42	23	2	1992	
	1992	小鷹 滋郎 八巻 和幸	遺跡にみる地震の傷跡	1-4	43	24	3	1993
伊東 博 坂上 義雄 鳥居 澄彦		雲仙・普賢岳の噴火活動	5-12	43	24	3	1993	
棚田 俊收 八巻 和幸 伊東 博		最近の伊豆半島東方沖の群発地震活動 (1989年海底噴火以降の活動)	13-16	43	24	3	1993	
伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 小鷹 滋郎		神奈川県西部地域における地震・傾斜観測(1992年)	17-26	43	24	3	1993	
板寺 一洋 横山 尚秀 小鷹 滋郎 平野 富雄		神奈川県西部地域における地下水位観測(1992年)	27-34	43	24	3	1993	
石坂 信之 石坂 浩史		釧路沖地震による池田町の被害について	35-36	43	24	3	1993	
板寺 一洋		なまずの頭を押さえる? 鹿島神宮(茨城県鹿島町)の要石	37-40	43	24	3	1993	
横山 尚秀		第13回「なまずの会」研修会報告	41-45	43	24	3	1993	
横山 尚秀		「なまずの会」地下水位等観測結果(1992年)	46-70	43	24	3	1993	
伊東 博		地震日誌	71-76	43	24	3	1993	
平野 富雄 八巻 和幸		地震の石碑(24)・南足柄市内の地震の石碑(その2)	77-84	43	24	3	1993	
1993		伊東 博	強化された神奈川県西部地域の地震観測施設	1-8	44	25	3	1994
		伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 小鷹 滋郎	神奈川県西部地域における地震活動(1993年)	9-14	44	25	3	1994
		板寺 一洋 横山 尚秀 小鷹 滋郎 平野 富雄	神奈川県西部地域における地下水位観測(1993年)	15-22	44	25	3	1994
	横山 尚秀	第14回「なまずの会」研修会報告	23-28	44	25	3	1994	
	横山 尚秀	「なまずの会」地下水位等観測結果(1993年)	29-52	44	25	3	1994	
	伊東 博	地震日誌	53-56	44	25	3	1994	
	平野 富雄	地震の記念碑(25)・小田原城の地震の記念碑	57-68	44	25	3	1994	
	1994	長瀬 和雄 杉山 茂夫	兵庫県南部地震の地震断層と地盤災害	1-15	45	26	3	1995
棚田 俊收 伊東 博		兵庫県南部地震時における神戸市三宮付近の震度分布調査	16-30	45	26	3	1995	
大山 正雄		兵庫県南部地震による宝塚・有馬温泉地の被災状況	31-32	45	26	3	1995	
伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 大山 正雄		1994(平成6)年10月25日 箱根外輪山に発生したM4.8の地震について	33-38	45	26	3	1995	
棚田 俊收 杉原 英和 八巻 和幸 伊東 博		1994(平成6)年10月25日 箱根外輪山に発生した地震の震度分布	39-44	45	26	3	1995	

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年
1994	伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 長瀬 和雄	神奈川県西部地域における地震活動(1994年)	45-50	45	26 3	1995
	板寺 一洋 横山 尚秀 長瀬 和雄 小鷹 滋郎 平野 富雄	神奈川県西部地域における地下水位観測(1994年)	51-58	45	26 3	1995
	横山 尚秀	第15回「なまずの会」研修会報告	59-62	45	26 3	1995
	横山 尚秀	「なまずの会」地下水位等観測結果(1994年)	63-84	45	26 3	1995
	伊東 博	地震日誌	85-86	45	26 3	1995
	平野 富雄	地震の記念碑(26)・足柄上郡山北町清水地区および三保地区の地震の記念碑	87-96	45	26 3	1995
	1996	石坂 信之	新しい温泉地学研究所	1-4	46	
伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 元木 章博 長瀬 和雄		神奈川県西部地域における地震活動(1995年)	5-16	46		1996
板寺 一洋 横山 尚秀 長瀬 和雄 平野 富雄		神奈川県西部地域における地下水位観測(1995年)	17-24	46		1996
伊東 博		第16回「なまずの会」研修会	25-28	46		1996
板寺 一洋		「なまずの会」地下水位等観測結果(1995年)	29-51	46		1996
伊東 博		地震日誌(1995年)	53-55	46		1996
平野 富雄		地震の記念碑(27)・足柄上郡山北町山北地区の地震の記念碑	57-68	46		1996
1997	長瀬 和雄	地質学と地震学	1-4	47		1997
	伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 元木 章博	神奈川県西部地域における1996(平成8)年の地震活動	5-12	47		1997
	板寺 一洋 長瀬 和雄 平野 富雄	神奈川県西部地域における地下水位観測(1996年)	13-18	47		1997
	伊東 博	第17回「なまずの会」研修会	19-22	47		1997
	板寺 一洋	「なまずの会」地下水位等観測結果(1996年)	23-43	47		1997
	伊東 博	地震日誌	45-46	47		1997
	平野 富雄	地震の記念碑(28)・関東大地震後の飲料水不足が契機となった足柄上地区の簡易水道の敷設	47-54	47		1997
	横山 尚秀	北伊豆地震と丹那断層	1-4	48		1998
	棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 元木 章博	神奈川県西部地域における1997(平成9)年の地震活動	5-12	48		1998
	板寺 一洋 宮下 雄次 横山 尚秀	神奈川県西部地域における地下水位観測(1997年)	13-18	48		1998
	伊東 博	第18回「なまずの会」研修会	19-22	48		1998
	板寺 一洋	「なまずの会」地下水位等観測結果(1997年)	23-44	48		1998
	伊東 博	地震日誌	45-48	48		1998
	棚田 俊收 八巻 和幸 伊東 博 元木 章博	1998(平成10)年1月26日丹沢山地南部に発生した地震の概要	49-50	48		1998
	1998	長瀬 和雄	巻頭言	1	49	
棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 元木 章博 小田 義也 大山 正雄		神奈川県西部地域における1998(平成10)年の地震活動	2-8	49		1999

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年	
1998	板寺 一洋 伊東 博	神奈川県西部地域における地下水位観測(1998年)	9-16	49		1999	
	伊東 博	第19回「なまずの会」研修会	17-21	49		1999	
	板寺 一洋	「なまずの会」地下水位等観測結果(1998年)	22-42	49		1999	
	伊東 博	地震日誌	43-46	49		1999	
	鈴木 清	大山のスギ巨木に見られた山崩れ災害の記録	47-51	49		1999	
1999	大木 靖衛	なまずの会回想録	1-14	50		2000	
	伊東 博 宮下 雄次	なまずの会活動実績	15-20	50		2000	
	宮下 雄次	観測日より通巻第50号までのあゆみ	21-26	50		2000	
	大山 正雄	1999(平成11)年の地震活動と温泉地学研究所における観測について	27-30	50		2000	
	棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 小田 義也	神奈川県西部地域における1999(平成11)年の地震活動	31-38	50		2000	
	小田 義也	神奈川県西部地域における1999(平成11)年のGPS・光波測量結果	39-41	50		2000	
	小田 義也 板寺 一洋	神奈川県西部地域における1999(平成11)年の地下水位観測結果	42-46	50		2000	
	小田 義也	「なまずの会」地下水位等観測結果(1999年)	47-66	50		2000	
	伊東 博 板寺 一洋	第20回「なまずの会」研修会	67-74	50		2000	
	伊東 博	地震日誌	75-78	50		2000	
	大山 正雄	地震などを予知する小田原の蛙石	79-84	50		2000	
	大山 正雄 黄 金旺 呂 進榮	台湾の921集集大地震について	85-104	50		2000	
	2000	萬年 一剛	三宅島火山2000年噴火の現地調査	1-6	51		2001
		棚田 俊收	2000(平成12)年三宅島近海の地震活動	7-12	51		2001
		棚田 俊收	2000(平成12)年9月神奈川県東部に発生した「やや深発地震」	11-14	51		2001
棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 小田 義也 大山 正雄		神奈川県西部地域における2000(平成12)年1月～12月の地震活動	15-24	51		2001	
小田 義也 八巻 和幸		神奈川県西部地域における2000(平成12)年のGPS・光波測量結果	25-27	51		2001	
小田 義也 板寺 一洋		神奈川県西部地域における2000(平成12)年の地下水位観測結果	28-33	51		2001	
小田 義也		「なまずの会」地下水位等観測結果(2000年)	34-52	51		2001	
伊東 博 板寺 一洋		第21回「なまずの会」研修会	53-58	51		2001	
伊東 博		地震日誌	59-64	51		2001	
2001		棚田 俊收 代田 寧 伊東 博 袴田 和夫	2001(平成13)年箱根火山の群発地震活動について	1-4	52		2002
		丹保 俊哉 棚田 俊收	2001(平成13)年箱根群発地震活動に伴う光波・GPSの変化	5-12	52		2002
	村瀬 圭 棚田 俊收	2001(平成13)年箱根群発地震の地震波形解析について	13-20	52		2002	
	齋藤 英二 萬年 一剛 宇都 浩三	2001(平成13)年箱根群発地震活動に伴う箱根火山の臨時GPS観測	21-24	52		2002	
	棚田 俊收 伊東 博 代田 寧 村瀬 圭 丹保 俊哉	神奈川県西部地域における2001(平成13)年の地震活動	25-32	52		2002	
	代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	神奈川県西部地域における2001(平成13)年の傾斜観測結果	33-36	52		2002	

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年
2001	板寺 一洋 代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	神奈川県西部地域における2001(平成13)年の地下水位観測結果	37-42	52		2002
	代田 寧 板寺 一洋 伊東 博	「なまずの会」地下水位等観測結果(2001年)	43-60	52		2002
	伊東 博 板寺 一洋	第22回「なまずの会」研修会	61-65	52		2002
	伊東 博	地震日誌	66-70	52		2002
2002	辻内和七郎 鈴木 征志 栗屋 徹	箱根大涌谷で2001(平成13)年に発生した蒸気井の暴噴事故とその対策	1-12	53		2003
	杉原 英和 伊東 博	中国・遼寧省地震局 訪問記	13-22	53		2003
	棚田 俊收 伊東 博 代田 寧 村瀬 圭 丹保 俊哉	2002(平成14)年12月30日箱根火山で発生した地震活動について	23-26	53		2003
	棚田 俊收 伊東 博 代田 寧 村瀬 圭 丹保 俊哉	神奈川県西部地域における2002(平成14)年の地震活動	27-32	53		2003
	代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	神奈川県西部地域における2002(平成14)年の傾斜観測結果	33-36	53		2003
	代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	神奈川県西部地域における2002(平成14)年のGPS・光波測量結果	37-42	53		2003
	板寺 一洋 代田 寧 棚田 俊收 伊東 博	神奈川県西部地域における2002(平成14)年の地下水位観測結果	43-46	53		2003
	代田 寧 板寺 一洋 伊東 博	「なまずの会」地下水位等観測結果(2002年)	47-64	53		2003
	伊東 博 代田 寧	第23回「なまずの会」研修会	65-68	53		2003
	伊東 博	地震日誌	69-72	53		2003
2003	伊東 博 棚田 俊收 代田 寧 原田 昌武 村瀬 圭 丹保 俊哉	神奈川県西部地域における2003(平成15)年の地震活動	1-6	54		2004
	代田 寧 棚田 俊收 伊東 博 原田 昌武	神奈川県西部地域における2003(平成15)年の傾斜観測結果	7-10	54		2004
	原田 昌武 棚田 俊收 丹保 俊哉 伊東 博	神奈川県西部地域における2003(平成15)年のGPS測量結果	11-14	54		2004
	棚田 俊收 代田 寧 伊東 博 丹保 俊哉 原田 昌武	神奈川県西部地域における2003(平成15)年の光波測量結果	15-16	54		2004
	板寺 一洋 代田 寧 丹保 俊哉	神奈川県西部地域における2003(平成15)年の地下水位観測結果	17-20	54		2004
	村瀬 圭 伊東 博 棚田 俊收	相似地震波形の解析を用いた神奈川県西部地震へのアプローチ	21-26	54		2004

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年	
2003	棚田 俊收 板寺 一洋	マグニチュード8.0の地震が北海道十勝沖で発生 ー平成15年十勝沖地震の調査概要ー	27-32	54		2004	
	原田 昌武 伊東 博 代田 寧	「なまずの会」地下水位等観測結果(2003年)	33-48	54		2004	
	伊東 博 原田 昌武 板寺 一洋	第24回「なまずの会」研修会	49-52	54		2004	
	伊東 博	地震日誌	53-58	54		2004	
	2004	伊東 博 棚田 俊收 原田 昌武 丹保 俊哉	神奈川県西部地域における2004(平成16)年の地震活動	1-6	55		2005
原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 代田 寧		神奈川県西部地域における2004(平成16)年の傾斜観測結果	7-10	55		2005	
丹保 俊哉 棚田 俊收 原田 昌武 伊東 博		神奈川県西部地域における2004(平成16)年のGPS・光波測量 結果	11-18	55		2005	
板寺 一洋 伊東 博		神奈川県西部地域における2004(平成16)年の地下水位観測結果	19-22	55		2005	
伊東 博 宮下 雄次 棚田 俊收 代田 寧 倉石 隆介 加藤 正造		新たな総合研究システムについて	23-34	55		2005	
板寺 一洋 原田 昌武 棚田 俊收 中尾 照彦		山間部を襲った直下型地震 平成16(2004)年新潟県中越地震の 概要	35-40	55		2005	
中尾 照彦		平成16(2004)新潟県中越地震における災害の特徴とその要因	41-46	55		2005	
棚田 俊收 中尾 照彦 板寺 一洋 原田 昌武		平成16(2004)新潟県中越地震における液状化と斜面崩壊の特徴	47-52	55		2005	
原田 昌武 伊東 博 板寺 一洋		「なまずの会」地下水位等観測結果(2004年)	53-67	55		2005	
伊東 博		地震日誌	68-71	55		2005	
2005		伊東 博 棚田 俊收 本多 亮 原田 昌武	神奈川県西部地域における2005(平成17)年の地震活動	1-6	56		2006
		本多 亮 棚田 俊收 原田 昌武 伊東 博	神奈川県西部地域における2005(平成17)年の傾斜観測結果	7-10	56		2006
		原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 本多 亮	神奈川県西部地域における2005(平成17)年のGPS・光波測量 結果	11-16	56		2006
	板寺 一洋 伊東 博	神奈川県西部地域における2005(平成17)年の地下水位観測結果	17-22	56		2006	
	伊東 博 板寺 一洋 原田 昌武	「なまずの会」研修会	23-28	56		2006	
	原田 昌武 伊東 博 板寺 一洋	「なまずの会」地下水位等観測結果(2005年)	29-42	56		2006	
	伊東 博	地震日誌	43-48	56		2006	
	石坂 信之	「地震はどこまでわかったか」講演会の概要	49-57	56		2006	

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年
2006	棚田 俊收 本多 亮 原田 昌武 行竹 洋平 伊東 博	神奈川県内およびその周辺における2006(平成18)年の地震活動	1-12	57		2007
	原田 昌武 行竹 洋平 棚田 俊收 伊東 博 本多 亮	神奈川県西部地域における2006(平成18)年のGPS・光波測量結果	13-18	57		2007
	原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 本多 亮	神奈川県西部地域における2006(平成18)年の地下水位観測結果	19-24	57		2007
	本多 亮 棚田 俊收 原田 昌武 伊東 博 本多 亮	温泉地学研究所の傾斜観測網で捉えた長周期地震動	25-30	57		2007
	本多 亮	ホームページを利用した地震・測地データ公開システムの紹介	31-34	57		2007
	原田 昌武 行竹 洋平 棚田 俊收 本多 亮 伊東 博	簡単な地震計の作り方 ～小中学生を対象とした地震教育教材の製作～	35-40	57		2007
	原田 昌武 伊東 博 板寺 一洋 代田 寧	「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2006年)	41-58	57		2007
	板寺 一洋 伊東 博	「なまずの会」総会の概要	59-64	57		2007
	伊東 博 板寺 一洋 原田 昌武 行竹 洋平	第27回「なまずの会」研修会	65-68	57		2007
		地震日誌	69-72	57		2007
2007	小田原 啓 本多 亮 棚田 俊收	2007年能登半島地震現地調査	1-6	58		2008
	棚田 俊收	写真やビデオ、現地での見聞から考えるインド洋大津波	7-10	58		2008
	杉原 英和 板寺 一洋	防災担当職員のための地震学講座を開催して	11-14	58		2008
	山下 正明	神奈川県地震被害想定調査について	15-18	58		2008
	代田 寧	温泉施設における爆発事故と神奈川県の対応	19-20	58		2008
	菊川 城司	ワクワク はこね温泉 第1回 「箱根二十湯」	21-24	58		2008
	小田原 啓	かながわ露頭まっぷ 「神縄断層」	25-28	58		2008
	伊東 博 板寺 一洋	「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2007年)	29-36	58		2008
	伊東 博 板寺 一洋 萬年 一剛	第28回「なまずの会」研修会	37-40	58		2008
	原田 昌武 板寺 一洋 伊東 博	神奈川県西部地域における2007(平成19)年の地殻変動観測結果	41-48	58		2008
	本多 亮 永井 悟 伊東 博 永井 悟	神奈川県内およびその周辺における2007(平成19年)の地震活動	49-53	58		2008
		地震日誌	54-58	58		2008
	2008	本多 久男	なまずの会の発展を願って	1-2	59	
小田原 啓 板寺 一洋 原田 昌武		2008年岩手・宮城内陸地震現地調査報告	3-8	59		2009
伊東 博		温泉地学研究所における地震・地殻変動観測施設の整備について	9-12	59		2009
棚田 俊收 丹保 俊哉		安政飛越地震と跡津川断層	13-18	59		2009
棚田 俊收 原田 昌武		2004(平成16)年新潟県中越地震発生から4年経過した被災地の状況	19-24	59		2009

年度	著者名	題名	頁	通巻	巻号	発行年
2008	萬年 一剛 小田原 啓 菊川 城司 代田 寧 板寺 一洋	温泉利用施設の意識調査-アンケート結果から	25-38	59		2009
	菊川 城司	ワクワク はこね温泉 第2回「箱根湯本温泉」	39-42	59		2009
	小田原 啓	かながわ露頭まっぷ 「平山断層」	43-44	59		2009
	伊東 博 原田 昌武 板寺 一洋	「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2008年)	45-50	59		2009
	原田 昌武 伊東 博 萬年 一剛 板寺 一洋	第29回なまずの会研修会	51-54	59		2009
	原田 昌武 板寺 一洋	神奈川県西部地域における2008(平成20)年の地殻変動観測結果	55-62	59		2009
	本多 亮 永井 悟 伊東 博	神奈川県内およびその周辺における2008(平成20)年の地震活動	63-66	59		2009
	行竹 洋平	地震日誌	67-72	59		2009
	2009	山下 正明	神奈川県地震被害想定調査の結果について	1-4	60	
萬年 一剛		新しい箱根地質立体模型	5-10	60		2010
萬年 一剛		火山学会がやってきた	11-16	60		2010
杉原 英和		市民向け防災教室(図上演習)の効果について	17-24	60		2010
菊川 城司		ワクワク はこね温泉 第3回 「塔之沢温泉」	25-28	60		2010
小田原 啓		かながわ露頭マップ 「夕日の滝断層」	29-30	60		2010
行竹 洋平		地学の豆知識第一回 ～断層とは?～	31-34	60		2010
伊東 博 原田 昌武 板寺 一洋		「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2009年)	35-40	60		2010
原田 昌武 板寺 一洋		神奈川県西部地域における2009(平成21)年の地殻変動観測結果	41-48	60		2010
本多 亮 伊東 博		神奈川県内およびその周辺における2009(平成21年)の地震活動	49-54	60		2010
行竹 洋平		地震日誌	55-59	60		2010
2010	吉田 明夫	温泉地学研究所の将来	1-2	61		2011
	杉原 英和	箱根ジオパークの認定に向けて	3-8	61		2011
	明田川 保	緊急地震速報が神奈川県に出たら・・・	9-12	61		2011
	板寺 一洋	地下水位に検知されたチリ中部沿岸地震(M8.6)の地震動および津波	13-16	61		2011
	Ryan Sayre 杉原 英和	外国人観光客にとっての箱根の地震・火山防災対策に対する一考察	17-26	61		2011
	菊川 城司	ワクワク はこね温泉 第4回 「大平台温泉」	27-30	61		2011
	行竹 洋平	地学の豆知識第2回 ～震度とマグニチュードについて～	31-34	61		2011
	板寺 一洋 伊東 博	「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2010年)	35-42	61		2011
	原田 昌武 板寺 一洋	神奈川県西部地域における2010(平成22)年の地殻変動観測結果	43-50	61		2011
	本多 亮	神奈川県内およびその周辺における2010(平成22)年の地震活動	51-56	61		2011
	行竹 洋平	地震日誌	57-61	61		2011
	2011	吉田 明夫	2011年東北地方太平洋沖地震から一年経過して	1-2	62	
原田 昌武 中野 健秀		東北地方太平洋沖地震による沿岸部の津波被害調査	3-10	62		2012
杉原 英和		都道府県における想定地震に関するアンケート調査結果について	11-18	62		2012
明田川 保		緊急地震速報は、なぜ間違えるのか	19-20	62		2012
萬年 一剛		アメリカの国立公園	21-27	62		2012
板寺 一洋		アイスランドを訪ねて	28-32	62		2012
菊川 城司		ワクワクはこね温泉 第5回「堂ヶ島温泉」	33-34	62		2012
小田原 啓		かながわ露頭マップ 「鏡摺の不整合」	35-38	62		2012
行竹 洋平		地学の豆知識第3回 ～津波～	39-44	62		2012
板寺 一洋 伊東 博		「なまずの会」地下水位・温泉温度等観測結果(2011年)	45-52	62		2012
原田 昌武 板寺 一洋		神奈川県西部地域における2011(平成23)年の地殻変動観測結果	53-62	62		2012
本多 亮		神奈川県内およびその周辺における2011(平成23)年の地震活動	63-74	62		2012

6-3-5 学会誌及び専門誌等の掲載

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
1991	平野 富雄 横山 尚秀 八巻 和幸	地下水位による地震予知	地質と調査 1, 51, 38-47
	大山 正雄 横山 尚秀	ベネチアの井戸 地下水の復活をはかる	神奈川県教養月報 No. 514 ハイドロロジー (日本水文科学会誌) 3, 21, 141
	石坂 信之	永福寺湧水遺構跡の湧水の水質	鎌倉市二階堂史跡永福寺跡国指定史跡永福寺跡環境整備事業に係る発掘調査概要報告書 平成3年度
	伊東 博 棚田 俊收 八巻 和幸 小鷹 滋郎 平野 富雄	1991年4月22日に発生した箱根火山の群発活動	火山噴火予知連絡会会報 50, 16-19
	内田 康人 馬場 久紀 飯塚 進 棚田 俊收 吉川 徹	爆破地震動観測による箱根火山とその周辺地域の地下構造(1)	東海大学紀要海洋学部 32, 179-190
	平野 富雄	地下水の水質 「地下水の化学」	地下水資源・環境論—その理論と実践— 水収支研究グループ編
1992	平野 富雄	温泉今昔物語、その14 箱根温泉	地熱エネルギー 1, 18, 4-20
	平野 富雄	大井にまつわる水のはなし —水質の見方—	於保為 大井町郷土史研究会 12, 33-46
	平野 富雄 石坂 信之 ほか	和泉川の弁天様 和泉川の水循環	水辺からのレポートII 横浜ふるさと和泉川 川とみず文化研究会編
	S. Horiuti (含 T. Tanada 計62名)	Hypocenter Locations by a Dense Network	J. Phys. Earth 40, 313-326
	F. Yamazaki (含 T. Tanada 計62名)	Focal Mechanism Analysis of Aftershocks of the 1984 Western Nagano Prefecture Earthquake	J. Phys. Earth 40, 327-341
	K. Hirahara (含 T. Tanada 計62名)	Three-Dimensional P and S Wave Velocity Structure in the Focal Region of the 1984 Western Nagano Prefecture Earthquake	J. Phys. Earth 40, 343-360
	A. Ikami (含 T. Tanada 計62名)	A Shallow Structure as Derived from an Explosion Seismic Experiment	J. Phys. Earth 40, 361-377
1993	伊東 博	相模湾と地震研究	京浜文化 34, 12-17
	大山 正雄	神奈川県の温泉ブーム	神奈川県教養月報 No. 526
	T. Yokoyama	A temperature analysis of groundwater flow system in the upper part of Ashigara plain	Tracers in Hydrology IAHS Publ. No. 215
	横山 尚秀 守田 優 木田 秀次	一般フォーラム報告	天気 Vol. 40, IAMAP-IAHS' 93特集号
	板寺 一洋	安定同位体組成の変化から何が読み取れるか? —主に蒸発に伴う非平衡プロセスについて—	ハイドロロジー 2, 23, 59-66
	板寺 一洋	環境トレーサーを用いたバトゥール火山火砕流斜面の地下水流動解析	地学雑誌 7, 102, 828-835
	板寺 一洋 島野 安雄	名水を訪ねて(22) —金沢清水と岩手山麓湧水群—	地下水学会誌 131-138
	平野 富雄	小田原城と地震の記念碑	小田原食品衛生協会誌
	大山 正雄 水野 明哲	数値シミュレーションによる湧泉の流出量解析	日本地下水学会誌 1, 36, 1-11
	大山 正雄	神奈川県の分水嶺	神奈川県教養月報 No. 539
	1994	平野 富雄 伊東 博	神奈川県における地震予知の現状
平野 富雄 ほか		研究所だより —世界有数の変動帯に位置する神奈川の地学現象—	カストレポート 6, 26-29
棚田 俊收		県西部地震の観測を強化する	月刊かながわ 1994年9月号, 27

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
1994	平野 富雄	箱根の温泉研究史探訪 (その1~その4)	地熱エネルギー ①Vol. 19, No. 2, 149-162 ②Vol. 19, No. 3, 274-287 ③Vol. 19, No. 4, 367-376 ④Vol. 20, No. 1, 13-25
	平野 富雄	4つの泉質のことを知れば、あなたは温泉通	…ing Vol. 8, 12-13
	平野 富雄	地下水の水質 (第3章)	開成町史(自然編) 平成6年11月30日発行
	横山 尚秀	開成町の地下水	開成町史(自然編) 平成6年11月30日発行
	長瀬 和雄	International Association of Hydrogeologists XXIVth Congress	地学雑誌 Vol. 103, No. 1, 89-90
	長瀬 和雄	1994年日本第四紀学会巡検「伊豆パー北端部プレート 衝突域の第四紀地史」に参加して	地学雑誌 Vol. 103, No. 6, 722-723
1995	温泉地学研究所	1994年10月25日に発生した箱根外輪山の地震(M4. 8)に ついて	地震予知連絡会会報 53, 255-266
	温泉地学研究所	1994年10月25日に発生した箱根外輪山の地震(M4. 8)に ついて	火山噴火予知連絡会会報 60, 5-11
	長瀬 和雄 栗屋 徹 村田 正敏 山井 忠世 前川統一郎	有機塩素系化合物による地下水汚染に対する調査と対策	日本地下水学会誌 第37巻, 第4号, 267-296
	県環境部 防災消防課	地震防災体制の3拠点整備完了	しんかんきょう 68, 31-33
	温泉地学研究所	総合防災センターと温泉地学研究所完成	晨 14, 5, 74
	温泉地学研究所	あたらしい温泉地学研究所が完成しました	かながわエコ通信 1995年5月号
	県環境部 防災消防課 環境総務室	神奈川県の総合防災体制	月刊かながわ 648, 4-11
	長瀬 和雄	より実行性のある地震対策に向けて	教養月報 2, 556
	棚田 俊收	新しくなった温泉地学研究所の紹介	はこね 50
	棚田 俊收 伊東 博 八巻 和幸 元木 章博 長瀬 和雄 平野 富雄	神奈川県温泉地学研究所の地震観測網	The proceedings of the fifth symposium on geo-environments and geo-technics (第5回環境地 質学シンポジウム論文集) 367-372
	1996	温泉地学研究所	1995年11月1日伊勢原断層付近で発生した地震(M2. 2)
温泉地学研究所		温泉地学研究所を訪ねて	神奈川県高圧ガス協会会報 No. 171, 18-19
平野 富雄		温泉地学研究所(新規施設紹介)	企業庁だより 169, 30-33
長瀬 和雄 杉山 茂夫 大山 正雄 伊東 博 棚田 俊收		1995年兵庫県南部地震に関する当所研究員による学会 発表、当初の地質講演会や温泉地学研究所報告	1995年兵庫県南部地震ならびに 阪神・淡路大震災に関する地学 的調査・研究報告の一覧(日本 学術会議地質学研究連絡委員会)
大山 正雄		書評：温泉のはなし (技報堂出版)	地学雑誌 2, 104, 310
長瀬 和雄		ジオトピックス：神奈川県西部地域の地震活動	地学雑誌 6, 104, 902
平野 富雄		「水」にまつわる気になる話	会計かながわ No. 159
平野 富雄		温泉サイエンス、多様な泉質の箱根温泉	マイウェイ No. 22
平野 富雄		私が提案する安心できる温泉・ポストグルメはピュア な湯	毎日グラフ・アミューズ 1996, No. 12
平野 富雄		豊かな水の恵み	広報・小田原 No. 682 母なる酒匂川

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁	
1996	平野 富雄	相模川と地震 ―石の語り部―	水辺からのレポートⅢ 「相模川 水の旅」 (川とみず文化研究会発行)	
	平田由紀子	堀木沢でみられる箱根火山の火山噴出物	神奈川県自然誌資料 第18号, 1-7	
	大山 正雄	0157と温泉	教養月報 No. 570	
	大山 正雄 共訳	ヨーロッパの地形 (上)	ヨーロッパの地形 大明堂 1997年発行	
1997	T. Yokoyama T. Hirano	Analysis of the progression and regression of salt-water upcoming for managing groundwater in the coastal area of the Ashigara plain	Poster proceedings of the 5th scientific assembly of the international association of hidrological sciences, 173-176	
	粟屋 徹 石坂 信之	温泉の水質 (神奈川の場合)	水道協会雑誌 No. 758	
	棚田 俊收	箱根火山を含む伊豆半島北東部における地震活動、3次元P波速度構造および地中温度分布について	地質ニュース No. 517	
	T. Tanada	The seismicity, 3D velocity structure and the subsurface temperature of thermal water in the northeast area of Izu Peninsula, Japan	Proceeding of 29th General Assembly of IASPEI 97	
	T. Tanada M. Ohyama	The relation between seismicity and hot spring water temperature change in Hakone-Tanzawa district, Central Japan	Proceeding of The 33rd Conference of SITH	
	宮下 雄次	地方自治体の研究機関の現場から	日本水文科学会誌 No. 27 (4), 205-206	
	宮下 雄次 田瀬 則雄 V. Nandakumar	熱帯モンスーン地域における地下水の水質および安定同位体の変化に関する研究	日本水文科学会誌 No. 28 (1), 23-26	
1998	横山 尚秀	地下水流動情報と汚染対策への活用	生活と環境 1998. 3, 8-42	
	大山 正雄	日本の温泉分布と地図 箱根温泉の分布と地図 箱根七湯全図	地図情報 vol. 18, No. 2, 10-12 vol. 18, No. 2, 20-22 vol. 18, No. 2, 39-40	
	大木 靖衛 徐 輝竜 石坂 信之 河内 一男	信濃川地震帯のジオプレッシャー熱水を伴う活断層と歴史被害地震	温泉科学 No. 48 (4), 163-181	
	棚田 俊收	神奈川県温泉地学研究所の紹介	サイスマ 第3巻, 第3号	
	棚田 俊收 大山 正雄	丹沢山地中川温泉で観測されたコサイスマミックな泉温変化	温泉科学 第48巻, 第4号, 154-162	
	宮下 雄次 田瀬 則雄 V. Nandakumar	一柳氏の討論に関する答弁	日本水文科学会誌 No. 28 (3), 99-101	
	1999	大沢 信二 由佐 悠紀 大山 正雄	噴出ガスの化学組成から得られる箱根火山の地熱情報	温泉科学 Vol. 49, No. 4, 151-161
		大山 正雄	書評「イタリア温泉案内(湯原浩三著)」	温泉科学 Vol. 49, No. 4, 224
萬年 一剛		伊豆大島1986年噴火TBテフラの全噴出物粒度組成・全噴出量	火山 第44巻, 第2号, 55-70	
棚田 俊收		Seismicity in the northeast area of Izu Peninsula, Japan, comparing with three dimensional velocity structure and with temperature distribution of geothermal water	Tectonophysics 第306巻, 3-4号, 449-460	
棚田 俊收		相模湾北西部およびその周辺地域の地震活動	第四紀研究 第38巻, 第6号, 461-468	
萬年 一剛		温泉ボーリングによる箱根火山中央火口丘の地下構造の解明	平成11年度東京大学地震研究所 研究集会報告書 1999-W-09, 57-60	
藪崎 志徳 嶋田 純 宮岡 邦任 宮下 雄次 吉田 誠		安定同位体を用いた足柄平野における地下水流動系の区分	日本水文科学会誌 No. 30 (1), 3-13	

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
2000	宮下 雄次 島野 安雄	名水を訪ねて(49) 長野県の名水 —姫川源流湧水・猿庫の泉など—	日本地下水学会誌 No. 42(2), 197-208
	濱田 浩正 二平 聡 宮下 雄次	足柄平野扇状地における不飽和帯水層の水分測定	土壌の物理性 No. 84, 43-47
	棚田 俊收	Detectability for GPS, EDM and tiltmeters of the Hot Springs Research Institute in the western Kanagawa prefecture, Japan	Earth Planets Space 第52巻, 1009-1013
	八巻 和幸	温泉地学研究所総合研究システム	地方自治コンピュータ 12, 30, 16-24
	横山 尚秀 板寺 一洋	Identification of groundwater sources in the Asigara plain using temperature and environmental isotopes	Tracers and Modeling in Hydrology (IAHS Publ. 262) 453-458
2001	Research Group for Deep Structure of Nagamachi-Rifu Fault (含 棚田俊收)	Seismic reflection survey in Nagamachi-Rifu fault, Sendai, Northeastern Japan	Tohoku Geophys. Jour. 36, 311-356
2002	村瀬 圭	2000年鳥取県西部地震(MJ=7.3)に先行した震源分布の フラクタル次元の特徴的变化	地震 第2輯, 第55巻, 11-18
	村瀬 圭 坂田 寿弘 田村良太郎 飯塚 進	微小地震観測による静岡県中西部地域の地震活動 (1992年9月-2001年12月)	東海大学紀要海洋学部 第55号, 115-133
	丹保 俊哉 酒井 英男 長尾 年恭	岐阜県大多和で観測された直流電車のレール漏れ電流 による地電位差変化の研究	IEEJ Vol. 122-A, No. 5, 446-453
	T. Tanbo T. Nagao H. Sakai	Goelectric study using the leak current from railroad as a signal, Application to Ohtawa Station, Gifu Prefecture, Japan	Proc. Japan Academy Vol. 78, Ser. B, No. 7, 179-184
	棚田 俊收	2001年の箱根山での地震活動	小田原市広報 No. 821, p3
	伊東 博	富士山の低周波地震	小田原市広報 No. 827, p3
	代田 寧	火山の活動状況を把握する	小田原市広報 No. 833, p4
	棚田 俊收	防災訓練の展示で引き立ったASTER画像	ERSDAC NEWS Vol. 73, p2
	斎藤 英二 宇都 浩三 萬年 一剛	箱根火山のGPS観測	火山噴火予知連絡会会報 80号, 41-42
	2003	M. Harada T. Furuzawa M. Teraishi F. Ohya	Temporal and spatial correlations of the strain field in tectonic active region, southern Kyusyu, Japan
萬年 一剛		文献による箱根群発地震活動の再検討(1917~1960) ; 箱根群発地震活動の地学的意義	火山 48巻, 6号, 425-443
萬年 一剛 堀内 誠示 田口 公則 山下 浩之 平田 大二 川手 新一 蛭子 貞二 谷口 英嗣		箱根地域・早川凝灰角礫岩から得られた微化石年代と その意義	地質学雑誌 109巻, 11号, 661-664
萬年 一剛 堀内 誠示 山下 浩之 川手 新一 平田 大二 谷口 英嗣		伊豆弧北部の基盤とその意義 —陸上ボーリングの解析から—	月刊地球 号外43号, 39-44
山下 浩之 谷口 英嗣 萬年 一剛 平田 大二 川手 新一		伊豆弧北部で掘削された深層ボーリングコアから得ら れた湯ヶ島層群の特徴	月刊地球 号外43号, 45-52
大山 正雄		大深度井の温泉水文学	温泉工学会誌 29巻, 27-38

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
2003	T.Tanbo H.Sakai T.Nagao	A study of geoelectric potential change caused by rail leak current observed at Ohtawa, Gifu, Japan	Electrical Engineering in Japan Vol.143, No.2, 1-10
	T.Tanbo T.Nagao H.Sakai	Geoelectromagnetic study using the leak current from railroad as a signal. -Application to Ohtawa station, Gifu Prefecture, Japan-	International Frontier Research Group on Earthquakes Final Report 4-138 - 4-147
2004	村瀬 圭	A characteristic change in fractal dimension prior to the 2003 Tokai-oki earthquake (Mj=8.0), Hokkaido, Northern Japan	Earth, Planets and Space Vol. 56, 40-45
	T.Tanaka T.Hoso M.Harada T.Hayashi Ashraf El-ktub Mousa K.Hirahara	Gradients of Water Vapor Distribution in the Troposphere Observed with Water Vapor Radiometers in Uji, Southwest Japan	Journal of the Geodetic Society of Japan Vol. 50, No. 2, 67-79
2005	丹保 俊哉 棚田 俊收 伊東 博 代田 寧	光波測量基線網で捉えられた2001年箱根火山の群発地震活動に伴う地殻変動	測地学会誌 第51巻, 第1号, 45-48
	萬年 一剛 小林 淳 山下 浩之 古澤 明	神奈川県山北町・浅間山の隆起開始年代－伊豆弧北東端のアクティブテクトニクスに対する一つの制約	地質学雑誌 第111巻, 第2号, 111-114
	板寺 一洋	温泉資源の実態	水環境学会誌 第28巻, 第9号, 2-6
	袴田 和夫 杉山 茂雄 今永 勇 萬年 一剛 大木 靖衛	箱根火山のK-A r 年代	火山 第50巻, 第5号, 285-299
	小田原 啓 井龍 康文 松田 博貴 佐藤 時幸 千代延 俊 佐久間大樹	沖縄本島南部米須・慶座地域の知念層および“赤色石灰岩”の石灰質ナンノ化石年代	地質学雑誌 第111巻, 第4号, 224-233
	小田原 啓 工藤 茂雄 井龍 康文 佐藤 時幸	沖縄本島読谷村一帯の座喜味層および琉球層群の層序	地質学雑誌 第111巻, 第6号, 313-331
	小松原純子 佐藤 時幸 中川 洋 松本 良 井龍 康文 松田 博貴 大村亜希子 小田原 啓 武内 里香	沖縄本島南部に分布する島尻層群新里層最上部および知念層の堆積残留磁化測定	堆積学研究 第61号, 5-13
	村岡 暖子 井龍 康文 小田原 啓 山田 努 佐藤 時幸	沖縄本島真栄田岬一帯の琉球層群の層序	Galaxea (日本サンゴ礁学会誌) 第7号, 23-36
	菊川 城司	蒸気造成泉について	環境省業務報告書 平成16年度 鉱泉分析法指針改定検討調査 44-54
	2006	板寺 一洋 棚田 俊收 小泉 尚嗣	神奈川県西部地域の地下水位観測結果 (2005年5月～2005年10月)
菊川 城司 板寺 一洋		地下水としての温泉保全入門	水の文化 No. 22, 10-15
小沢 清		かながわの活断層	政経かながわ 2月25日号 (No. 1706)

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
2006	宮下 雄次	足柄平野の地下水の現状と今後	酒匂川 第41号, 26-31
	板寺 一洋	最近の温泉開発の状況と問題点	天の水地の水 第157号, 13-20
	Y. Iryu T. Yamada S. Matsuda K. Odawara	Pliocene to Quaternary Carbonate sequence on Okinawa-jima.	Proceedings of the 10th International Coral Reef Symposium, 2022-2036
	小林 淳 萬年 一剛 奥野 充 中村 俊夫 袴田 和夫	箱根火山大涌谷テフラ群 ー最新マグマ噴火後の水蒸気爆発堆積物ー	火山 51巻, 4号, 245-256
	町田 功 板寺 一洋 萬年 一剛	箱根カルデラ内地域の地下水流動系 ー温泉資源量の解明を目指してー	地質ニュース 627号, 42-47
	萬年 一剛	濁川型カルデラの地質構造	月刊地球 28巻, 4号, 257-264
	K. Mannen	Total grain size distribution of a mafic subplinian tephra, TB-2, from the 1986 Izu-Oshima eruption, Japan: an estimation based on a theoretical model of tephra dispersal.	Journal of Volcanology and Geothermal Research v155, 1-17
	萬年 一剛 小林 淳 奥野 充 笠間 友博 山下 浩之 袴田 和夫 中村 俊夫	箱根火山の噴火史 ～最近の知見に基づく再検討	月刊地球 28巻, 6号, 355-362
	宮下 雄次	地下水の硝酸性窒素汚染と周辺土地利用との関係	地下水技術 第48巻, 第8号, 25-34
	Y. Takeuchi Y. Iryu T. Sato S. Chiyonobu S. Yamada K. Odawara E. Abe	Pleistocene reef development and stratigraphy on Ie-jima, the Ryukyu Islands, southwestern Japan.	Proceedings of the 10th International Coral Reef Symposium, 536-546
菊川 城司	温泉中の硫化水素について	環境省業務報告書 平成17年度 鉱泉分析法指針改定検討調査 96-107	
2007	原田 昌武 棚田 俊收 伊東 博 本多 亮	神奈川県西部地域の地殻変動	月刊地球 号外57号, 133-139
	小田原 啓 萬年 一剛	神奈川県西部地域の活断層	月刊地球 号外57号, 148-153
	棚田 俊收	神奈川県西部地域の地震活動とその発生環境	月刊地球 号外57号, 126-132
	菊川 城司	H ₂ S、Rn、CO ₂ 等ガスを含む温泉の取扱について	環境省業務報告書 平成18年度 鉱泉分析法指針改定検討調査
	日本地質学会 国立公園地質 リーフレット 編集委員会	箱根火山	国立公園地質リーフレット1
	K. Mannen T. Ito	Formation of scoria cone during explosive eruption at Izu-Oshima volcano, Japan	Geophysical Research Letters v34, L18302, doi:10.1029/2007GL030874
	町田 功 板寺 一洋 萬年 一剛	箱根強羅地区における高温NaCl 泉の供給源地	地下水学会誌 v49, n4, 327-339
2008	宮下 雄次	土壌・地下水汚染対策調査のための適正なサンプリング地点の選定方法	水環境学会誌 31(2), 67-71
	R. Honda S. Aoi H. Sekiguchi H. Fujiwara	Imaging of an Asperity of the 2003 Tokachi-oki Earthquake Using a Dense Strong-Motion Seismograph Network	Geophysical Journal International, 172(3), 1104-1116 doi:10.1111/j.1365-246X.2007.03702.x.

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁	
2008	萬年 一剛	箱根カルデラ ー地質構造・成因・現在の火山活動における役割ー	神奈川県立博物館調査研究報告 (自然) 13, 61-76	
	山下 浩之 萬年 一剛 川手 新一 笠間 友博 平田 大二 蛭子 貞二 谷口 英嗣	箱根火山基盤岩類の再検討	神奈川県立博物館調査研究報告 (自然) 13, 135-156	
	棚田 俊收	箱根火山の地震活動 (1990~2007年) とその発生機構	神奈川県立博物館調査研究報告 (自然) 13, 187-194	
	菊川 城司 板寺 一洋	箱根湯本地区温泉の泉質経年変化の評価 ー成因の解明に向けて	神奈川県立博物館調査研究報告 (自然) 13, 195-210	
	宮下 雄次 清水 裕大 徳原 知靖 小寺 浩二	酸素同位体比による三浦半島南部地域河川水への生活排水の影響	日本水文科学会誌 38(2), 71-80	
	萬年 一剛	箱根カルデラ ー地質構造・成因・現在の火山活動における役割ー	月刊地球号外 n60, 98-104	
	高橋 正樹 萬年 一剛 山下 浩之 松信 裕	箱根火山 噴火の新しいメカニズムを探る	有隣 n486, 1-3	
	S. Aoi R. Honda N. Morikawa H. Sekiguchi H. Suzuki Y. Hayakawa T. Kunugi H. Fujiwara	3D finite-difference simulation of long-period ground motions for the 2003 Tokachi-oki, Japan, earthquake	J. Geophys. Res. v113, B07302	
	Y. Yukutake T. Takeda K. Obara	Fine fault structure of a moderate earthquake in the 2007 earthquake sequence of Northern Mie, Japan	Earth Planets Space 60, 981-985	
	Y. Yukutake T. Takeda K. Obara	Fine fault structure of a moderate earthquake in the 2007 earthquake Well-resolved hypocenter distribution using the double-difference relocation method in the region of the 2007	Earth Planets Space 60, 1105-1109	
	M. Harada M. Iwakuni T. Tanada	Characteristics of Crustal Strain in the Western Kanagawa Prefecture, Japan	International Symposium on GPS/GNSS 2008 Proceedings, 69-77	
	2009	水垣 桂子 萬年 一剛	「濁川型」カルデラの再検討	月刊地球 v31, n1, 41-49
		萬年 一剛 小林 淳 杉原 英和	箱根火山の最近の活動と火山防災	月刊地球 v31, n2, 85-92
菊川 城司		箱根温泉学のあゆみ ーそしてこれからー	月刊地球 v31, n2, 93-103	
R. Honda S. Aoi		Array Back-Projection Imaging of the 2007 Niigatoken Chuetsu-oki Earthquake Striking the World's Largest Nuclear Power Plant	Bull. Seism. Soc. Am. v99, 141-147	
宮下 雄次		灌漑と地下水 ー足柄平野の事例ー	農の礎 第69号, 41-44	
宮下 雄次		土壌・地下水汚染調査における、効果的な地下水調査の方法について	かながわ環境技術会誌 第9号, 33-37	
代田 寧 棚田 俊收 丹保 俊哉 伊東 博 原田 昌武 萬年 一剛		2001年箱根群発地震活動に伴った傾斜変動と圧力源の時間変化	火山 54巻, 5号, 223-234	
2010		板寺 一洋 菊川 城司 小田原 啓	神奈川県の大深度温泉水の起源	温泉科学 59(4), 320-339
	Y. Yukutake Y. Iio S. Horiuchi	Detailed spatial changes in the stress field of the 1984 Western Nagano Earthquake Region	J. Geophys. Res. 115, B06305, doi:10.1029/2008JB006111.	

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁	
2010	棚田 俊收 杉原 英和 本多 亮 原田 昌武 行竹 洋平 伊東 博 吉田 明夫	神奈川県温泉地学研究所アウトリーチ活動における首都直下地震防災・減災特別プロジェクトの紹介	東京大学地震研究所彙報 84(2), 213-216	
	汐見 勝彦 佐々木俊二 酒井 慎一 笠原 敬司 関根秀太朗 中川 茂樹 小原 一成 平田 直 棚田 俊收	地震動の長周期成分を用いた首都圏地震観測網(MeS0-net)の設置方位推定	東京大学地震研究所彙報 84(2), 115-125	
	宮下 雄次	地下水と地盤	大いなる神奈川の地盤, 61-65	
	板寺 一洋	温泉と地盤	大いなる神奈川の地盤, 65-70	
	杉原 英和	地震災害と地盤	大いなる神奈川の地盤, 177-184	
	萬年 一剛	火山災害と地盤	大いなる神奈川の地盤, 184-190	
	原田 昌武 細野 耕司 小林 昭夫 行竹 洋平 吉田 明夫	富士山周辺及び箱根カルデラの膨張歪と低周波地震活動	火山 第55巻, 193-199	
	Y. Yukutake T. Tanada R. Honda M. Harada H. Ito A. Yoshida	Fine fracture structures in the geothermal region of Hakone volcano, revealed by well-resolved earthquake hypocenters and focal mechanisms	Tectonophysics 489, 104-118	
	T. Maeda K. Obara Y. Yukutake	Seismic Velocity Decrease and Recovery Related to Earthquake Swarms in a Geothermal Area	Earth Planets Space 62, 685-691	
	M. Hoshihara K. Ohtake K. Iwakiri T. Aketagawa H. Nakamura S. Yamamoto	How precisely can we anticipate seismic intensities? A study of uncertainty of anticipated seismic intensities for the Earthquake Early Warning method in Japan	Earth Planets Space 62, 611-620	
	鈴木 秀和 田瀬 則雄	浅間山における湧水中の溶存炭酸の炭素同位体比—火山性CO ₂ の寄与率の推定—	日本地下水学会誌 52(3), 247-259	
	鈴木 秀和 田瀬 則雄	浅間火山の湧水の水質形成における火山ガスの影響と地下水流動特性—硫黄同位体比を用いた検討	日本水文科学会誌 40(4), 149-162	
	平田 大二 山下 浩之 坂本 泉 小田原 啓 滝野 義幸 鬼頭 毅 藤巻三樹雄 萬年 一剛 新井田秀一 笠間 友博 斎藤 靖二	箱根火山芦ノ湖の湖底における箱根町断層地形	地学雑誌 119, 911-916	
	本多 亮 伊東 博 行竹 洋平 原田 昌武 吉田 明夫	S-P 時間を用いた再解析によって明らかになった1970年代の箱根群発地震震源域の特徴—最近の群発震源域との比較—	火山 56(1), 1-17	
	2011	菊川 城司 板寺 一洋 吉田 明夫	箱根強羅潜在カルデラ内に湧出する温泉の新しい分類	温泉科学 60(4), 445-458
		板寺 一洋 菊川 城司 吉田 明夫	酸素同位体比および主要アニオンから見た箱根強羅温泉の成因	温泉科学 60(4), 459-480

発表年	著者名	題名	誌名 巻,号,頁
2011	鈴木 秀和 田瀬 則雄	「水文科学が解き明かす不思議な天然水」 1. 低温異常を示す鬼押し出し末端湧水群	日本水文科学会誌 41(1), 21-26
	明田川 保 福満修一郎	震度5弱を観測するなどの顕著な地震が前震であった事例について	験震時報 74(1-4), 17-28
	吉田 明夫 原田 昌武 小田原 啓	箱根火山の東傾斜と丹那断層	地学雑誌 120, 646-653
	代田 寧 大場 武 菊川 城司 板寺 一洋	箱根カルデラ西部の湖尻・芦ノ湖地区の温泉水に溶存している炭酸成分の起源に関する一考察	温泉科学 61(2), 97-105
	代田 寧	神奈川県内の温泉付随メタンガスの実態	社団法人高圧ガス協会会報 No. 264, 18-21
	小田原 啓 林 広樹 井崎 雄介 染野 誠 伊藤 谷生	伊豆地塊北端部, 伊豆衝突帯の地質構造	日本地質学会第118年学術大会 見学旅行案内書, 地質学雑誌 第117巻, 補遺, 135-152
	T. Ohba Y. Daita T. Sawa T. Taira Y. Kakuage	Coseismic changes in the chemical composition of volcanic gases from the Owakudani geothermal area on Hakone volcano, Japan	Bull. Volcanol. 73, 457-469, DOI:10.1007/s00445-010-0445-9
	Honda R. et al.	A complex rupture image of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake revealed by the MeSO-net	Earth Planets Space vol 63, No 7, 583-588
	Y. Yukutake R. Honda M. Harada T. Aketagawa H. Ito A. Yoshida	Remotely triggered seismicity in Hakone volcano following the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquakevolcano, Japan	Earth Planets Space 63, 737-740
Y. Yukutake H. Ito R. Honda M. Harada T. Tanada A. Yoshida	Fluid-induced swarm earthquake sequence revealed by precisely determine hypocenters and focal mechanisms in the 2009 activity at Hakone volcano, Japan	J. Geophys. Res. doi:10.1029/2010JB008036	
N. Miyaji A. Kan'no T. Kanamaru K. Mannen	High-resolution reconstruction of the Hoei eruption (AD 1707) of Fuji volcano, Japan	Journal of Volcanology and Geothermal Research, 207, 113-129	
2012	原田 昌武 明田川 保 伊東 博 本多 亮 行竹 洋平 板寺 一洋 吉田 明夫	2011年東北地方太平洋沖地震によって誘発された箱根火山の群発地震活動	地震 第2輯, 第64巻, 135-142
	菊川 城司 板寺 一洋 代田 寧	東北地方太平洋沖地震の影響による神奈川県内の温泉・地下水の変化	温泉科学 61(4), 292-298
	Y. Yukutake T. Tanada R. Honda A. Yoshida	Seismotectonics in the Tanzawa Mountains area in the Izu-Honshu collision zone of central Japan, as revealed by precisely determined hypocenters and focal mechanisms	Earth Planets Space 64, 269-277